

2023年度前期
弘前大学グリーンカレッジ
開放科目一覧

開放科目について

- ◎ 開放科目一覧には、授業の概要が記載されていますが、より詳しい内容は、4月1日以降に公開予定のシラバス上に記載されます。それまでは前年度（2022年度）のシラバスを参考にしてください。（内容は変更になることがあります。）

グリーンカレッジホームページに2022年度シラバスのリンクをはっていますので、下記URLからお入りください。

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/education/syllabus/>

- ◎ 履修証明プログラム関係科目は必修科目・選択科目があります。別添の「履修証明プログラムについて」を参照してください。

「必修科目」：必ず受講すること。

「選択科目」：指定された科目の中から、2科目以上を選択して受講すること。

履修証明プログラム以外の科目も受講することができます。

本学の授業時間は下記のとおりです。

時 限	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
時 間	8:40 ～ 10:10	10:20 ～ 11:50	12:40 ～ 14:10	14:20 ～ 15:50	16:00 ～ 17:30

- ◎ 受講希望者数が定員を超えた科目は受講することができず、第2希望の科目を受講していただく場合がありますので、ご了承ください。

- ◎ 多言語科目は、レベルⅠ、Ⅱに分けられます。

レベルⅠ：基礎力を養います。週2回授業があります。週1回のみの受講は認められません。

レベルⅡ：Ⅰで学んだことを基盤に発展的な内容を学びます。

- ◎ 受講講義室は、4月に改めてご案内します。

なお、講義室は授業開始後、受講者数調整等の関係で変更になることがあります。教員の指示や、変更のお知らせ（掲示板等）にご注意ください。

2023年度 前期 グリーンカレッジ開放科目一覧

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231200009	火	3・4時限	グローバル	持続可能な開発目標SDGs－SDGsのつかい方①－	永長 一茂	SDGsは理想論的な目標だと思われがちだが、理念が異なる人や企業にも幅広く利用してもらうための仕組みを内包する。授業ではSDGsの構造や、様々な視点に立った活用法を学ぶ。	
1231200016	火	7・8時限	グローバル	持続可能な開発目標SDGs－日本語教授法－	笹森 圭子	日本語教育における教授法の基礎的な知識、技能を学ぶ。第二言語習得、学習ストラテジー、外国語教授法の変遷、ニーズ・レディネス調査や教材・教具、教科書の扱い方のほか、授業の流れや設計について扱う。	
1231200017	火	7・8時限	グローバル	地球環境・気候－エネルギー地球環境学概論－	赤田 尚史	資源が限られている日本では、エネルギーのベストミックスが必要不可欠である。本講義では、エネルギーと地球環境について、特に原子力と環境のかかわりについて学ぶ。	
1231200069	火	9・10時限	グローバル	持続可能な開発目標SDGs－日本語教育方法論－	笹森 圭子	日本語の授業の原理、教える側・学ぶ側の心理、テストと評価などを、ケーススタディを用いて考察していく。日本語教育に必要なコースデザイン力、教える力、教師としての成長力を身につける。	
1231200022	火	9・10時限	グローバル	持続可能な開発目標SDGs－持続可能な開発目標SDGs17Goals①－	宋 美蘭	社会的・生態的な持続可能性を脅かしている様々な課題を克服するために、あらゆる領域において持続可能な社会の構築に取り組む「共・協創教育（共に協力して創る「共・協創の基本原理」）」への転換が強く求められています。本授業では2015年9月に国連サミットで定められた国際社会共通の目標として掲げているSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）17目標を取り上げ、SDGsとは何かを知ると同時に世界規模で起きている様々な問題について学び、理解を深めることを目指していきます。 「持続可能な開発目標SDGs」は、全ての人類が発展を遂げながら生存を続けられることを目指して、国連で採択された目標です。持続可能な開発を実現し、目標を達成するためには、大きく「環境」「社会」「経済」の3要素が調和している状態を維持することが重要だと言われています。 本授業ではSDGsの17目標の具体的な課題やその理念を理解しつつ、上述の3つの要素、すなわち、①環境＝地球温暖化、エネルギー問題の深刻化、自然災害の増加、水問題の深刻化、気候変動、生物多様性の喪失などの問題、②社会＝貧困、教育機会の不平等、人種差別、紛争の長期化・複雑化、健康と福祉、消費と生産などの問題、③経済＝経済格差の拡大、若年失業率、雇用なき都市化の進行の問題など、それぞれの課題について学びつつ、同時に持続可能な社会づくりのための施策・解決策を受講生とともに議論し考えていきます。 なお、本授業では、文系・理系の枠を超えた学問異分野領域横断の教員によって構成され、それぞれの教員の専門とSDGsとの関係を具体的に教授していただきます。SDGs解決に向けて、学生自らが日々の生活の中で学んだことを意識し、持続可能な価値創出が生成されることを目指していきます。	
1231200025	水	1・2時限	グローバル	国際地域・社会・文化－現代中東を見る－	亀谷 学	○現代の中東地域について、その歴史的背景を踏まえつつ理解するために、映像資料と口頭での解説を併用しながら、それぞれの国や地域の視点から解説する。 ○映像を通じて、イメージの中の中東と実際の中東のギャップについて考え、異文化・多文化理解のための基礎的な認識を身につけることを目指す。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231200035	水	7・8時限	グローバル	持続可能な開発目標SDGs－英語で考えるSDGs－	多田 恵実	持続可能な開発目標、Sustainable Development Goalsに関連した映像ニュースを取り上げながら、英語のリスニングと読解を通じて、SDGsについての理解を深めます。情報を広く世界に求めて、自らができる行動を考え、意見をまとめ、発表する力を要請します。英語初・中級レベル	
1231200036	水	7・8時限	グローバル	国際地域・社会・文化－自律的な言語学習－	片桐 早苗	この授業では、自律的な英語学習者として、いかに長期的に学んでいくかを考え、実践します。学習の目標設定、プランの立案、実践を行い、省察を経てプランの再構築を行うことにより、メタ認知能力を涵養し自己管理できる学習者になることを目指します。	
1231200042	木	3・4時限	グローバル	国際地域・社会・文化－多文化共生社会・教育・運動：グローバル時代における多様性と包摂性①－	宋 美蘭	多様な人々が社会に参画でき、すべての人に人権が保障される多文化共生社会を教育と運動の観点からその過去・現在・未来の時間の中でアプローチをし、グローバル時代における多様性と包摂性の問題を取り上げる。具体的には、日本・韓国・アメリカの事例を取り上げ、不登校の子どもの国内外の問題、在日韓国・朝鮮人教育、識字教育と夜間中学、ニューカマーの在日外国人教育の問題、アメリカの公民権運動、労働運動、先住民の運動、女性・性的マイノリティの運動など様々なアメリカの社会運動の歴史を見ながら、多文化共生社会の実現に向けた課題を考える。	
1231200047	木	3・4時限	グローバル	グローバル経済・産業－中国の経済と企業経営－	林 彦櫻	現代中国経済と企業経営の事情を、分野別・産業別に解説する。	
1231200056	木	5・6時限	グローバル	世界の芸術・文学－芸術身体論：ピアノ入門①－	今田 匡彦	○世界の芸術・芸能と身体との関係についてピアノという楽器を通して見識を深める。 ○世界の芸術・芸能と身体の関係についてその文化背景についても理解する。	
1231200057	木	7・8時限	グローバル	世界の芸術・文学－西洋美術史入門－	宮坂 朋	○西洋美術史の大きな流れをつかむ ○作品の見どころを理解する	
1231200065	金	5・6時限	グローバル	地球環境・気候－地球学入門－	折橋 裕二	地球システムは、表層から内部へ地殻・マントル・中心核で構成されており、大気と海洋からなる流体圏と生物が活動する生物圏にとりまかれています。そして、宇宙空間との間には磁気圏が広がっています。表層の大気と海洋は主に太陽日射をエネルギー源として気象変化、気候変動等を引き起こし、内部では地球の冷却過程で起こる熱対流運動が地震や火山活動、さらには地球磁場等の原因となっています。ここでは、地球システム全体の活動の概要と、地球表層で起こる地質現象の原動力について学びます。	
1231200002	月	5・6時限	ローカル	地域の社会・文化－地方創生入門①－	小寺 将太	○日本全体から青森県内における地方創生に関する現状や課題、取り組みについて体系的に理解を深めます。 ○地域課題の解決手法をワークショップ形式で習得することを目指します。 ○地域創生人材の育成を目指すことが本講義の目的です。	
1231200006	火	1・2時限	ローカル	地域の経済・産業－企業と経営－	佐々木 純一郎	主に地域自体の魅力を高める地域ブランドの手法などを学びます。なお、『青森県社会経済白書』を題材として、青森県庁の担当職員と議論する予定です。また青森県信用保証協会の職員から、青森県内の起業などについて紹介していただく予定です。	
1231200007	火	1・2時限	ローカル	地域の社会・文化－調理科学と食文化－	谷本 憂太郎	各地域の郷土料理の特徴や「カン」や「コツ」の調理過程を調理科学的視点と食文化論的視点から学ぶ。	
1231200008	火	3・4時限	ローカル	地域の社会・文化－地域社会の創造と教育－	越村 康英	本授業では、少子高齢化・人口減少時代における地域社会の自治的創造に向けた「教育・学習」(社会教育)の意義・課題について、実践的視点から掘り下げていく。まず、第2回・第3回では、社会教育に関する基礎的事項について概説する。その上で、第4回～第7回では、公民館・児童館などの公共施設(社会教育関連施設)に着目し、実践事例を通じて、その意義や役割について考察する。さらに第8回～第13回では、地域課題に挑む青森県内の実践事例を取り上げ、そのプロセスに内在する「教育・学習」の実相にも迫っていく。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231200019	木	1・2時限	ローカル	地域の経済・産業－商業、サービス業の役割－	保田 宗良	○青森県の経済・産業事情を公的資料で概要を把握する。 ○観光を推進する事由、地域社会における検討課題を公的資料から把握する。 ○商店街、食品スーパーが、地域社会に与える様々な影響を事例から学習する。	
1231200020	火	9・10時限	ローカル	地域の芸術・文学－日本漆芸史－	高橋 憲人	○西洋近代の眼差しと、それを内在化した日本の政策によって「工芸」概念が形成されていくプロセスを、漆芸に焦点を当てて概観します。 ○そのプロセスのなかに青森県を代表する漆芸である「津軽塗」がどのように位置づけられるのかを理解します。	
1231200021	火	9・10時限	ローカル	地域の社会・文化－江戸時代以前へのアプローチ－	福眞 睦城	江戸時代以前の津軽地方の歴史を把握する。ただし、津軽地方・青森県の地域・郷土史の講義ではない。日本史全体を見通し、その中に当該地域を位置づけていくことを目指す。	
1231200040	水	7・8時限	ローカル	地域の社会・文化－地域ボランティア入門②－	李 永俊	○ボランティアに関する基礎的な概念について学習し、地域社会におけるボランティア活動の意義を理解する ○ボランティア活動を通して、各ボランティア団体の課題を発見する(見通す力) ○ボランティアの実践を通して、地域社会の課題を解決する力を養う(解決していく力) 本講義は、事前研修、ボランティア実践、成果報告会から構成される。事前研修では、弘前市のこどもの貧困の実態と、そのような子どもを支援する行政の役割とその限界を学習する。その上で行政ではないボランティア活動の意義を理解する。そして、地域内の各ボランティア団体について調査し、活動場所の選定を行う。月1回開催されるボランティア活動に参加し、各団体の実情などを調査する。調査結果は中間活動報告会を通して共有する。その内容を踏まえ、改善案を検討し、改善計画を立てる。改善計画を各団体の運営者に説明し、改善計画に沿って事業を継続する。そして、最終報告会に改善活動の結果、および事業を通して発見した課題、その解決策を提案する。 新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、本講義は上記の講義計画を大幅に変更し、主に講義形式で実施する。本講義では、地域が抱えている諸課題の理解を深めるとともに、行政や民間ではなく第三の担い手であるNPOや市民団体、そしてボランティアの可能性を理解することを目的とする。 本講義のMicrosoft Teams のコードは、1h3cche です。ムードルのアクセスについては、第1回のオリエンテーションで説明します。	
1231200045	木	3・4時限	ローカル	地域の社会・文化－青森の手工芸実習①－	安川 あけみ	・青森県津軽地方の伝統的な手工芸である「こぎん刺し」の作品を製作します。 ・青森県南部地方の伝統的な手工芸である「菱刺し」の作品を製作します。 ・手縫いにより「こぎん刺し」と「菱刺し」を行い、ミシン縫いによりトートバッグや巾着袋を縫製します。	
1231200055	木	5・6時限	ローカル	地域の社会・文化－青森の手工芸実習②－	安川 あけみ	・青森県津軽地方の伝統的な手工芸である「こぎん刺し」の作品を製作します。・青森県南部地方の伝統的な手工芸である「菱刺し」の作品を製作します。・手縫いにより「こぎん刺し」と「菱刺し」を行い、ミシン縫いによりトートバッグや巾着袋を縫製します。	
1231200058	木	7・8時限	ローカル	地域の経済・産業－原子力行政概論－	田副 博文	原子力行政に関する国際機関の報告書の概要を理解するとともに、多くの原子力施設を抱える青森県における行政対応について理解を深める。	
1231100006	月	1・2時限	自然・科学	化学の世界－化学入門A－	長南 幸安	○高校で習う主な項目、原子の構造、元素の周期律、化学結合、物質の性質、化学反応などについて学びます。	
1231100007	月	1・2時限	自然・科学	農学の世界－食と生活の酵素科学－	濱田 茂樹	生命科学・生物工学の中心的位置を占める酵素について、専門分野を学ぶ前段として高校の内容も復習しながら学んでいきます。また、身の回りの食品や製品が酵素によってどのように作られているかを解説します。特に、糖質に関する酵素を中心にお話しします。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231100034	月	3・4時限	自然・科学	数学の世界－社会科学のための数学入門－	花田 真一	経済学を中心とした社会科学の問題を考える際に基礎となる数学について学びます	
1231100051	月	5・6時限	自然・科学	農学の世界－微生物を活かしたもののづくり－	園木 和典	○微生物学発展の背景を解説します。 ○ 伝統的に利用されてきた微生物機能から、現代の有用物質生産そして持続可能な社会形成に関わる微生物機能を解説します。	
1231100052	月	5・6時限	自然・科学	生物学の世界－キノコ学入門－	殿内 暁夫	キノコの分類・生態・機能・文化について講義する。	
1231100115	火	5・6時限	自然・科学	物理学の世界－物理学入門－	黒川 敦	○高校で「物理」を履修してこなかった大学1年生向けの「物理学入門」を学びます。 ○力学や電磁気学などが、図や写真、実物を用いて、わかりやすく説明されます。 ○物理全体、特に身近な物理現象が理解できるようになります。	
1231100121	火	7・8時限	自然・科学	物理学の世界－現代物理学入門－	仙洞田 雄一	○現代の物理学の根幹である量子論と相対論の基礎事項・概念を把握する ○それらがさまざまな自然現象、とりわけ宇宙や天体現象の理解のためにどのように役立つかを把握する	
1231100123	火	7・8時限	自然・科学	生物学の世界－細胞の基礎生物学－	中原 岳久	・生命現象の基礎を理解することを目的とします。 ・前半は基本的な細胞の構造・働き・増殖、および細胞の増殖に伴うDNAの複製様式や遺伝子発現を学習します。 ・後半は、細胞学的・遺伝学的内容をふまえ、突然変異、遺伝性疾患、発癌の機構、生体防御機能などを学習します。	
1231100136	火	9・10時限	自然・科学	環境と生活－環境と生活A①－	長南 幸安	○大気・水・大地からエネルギーに至るまで人間活動と環境や暮らし・生活がどのような関係にあるかを学びます。 ○環境中に放出された化学物質が人間を含む生物系に及ぼす影響や、リサイクルやゴミ問題とエネルギーなどの環境問題を考察する方法も学びます。 ○いくつかのテーマにおいては地域志向科目として青森県を例に取りあげて、環境と生活の関係性を考えます。	
1231100171	水	5・6時限	自然・科学	生物学の世界－ウイルス学入門－	森田 英嗣	現在、新型コロナウイルスの蔓延は人類の社会活動に大きな影響を与えています。このようなウイルスは、人類の生存を脅かす病原体としてだけでなく、生物間を移動する遺伝子の断片として自然界に広く存在し、生物の進化に影響を及ぼす存在だとも考えられてきました。本講義では、これまでエイズウイルスやC型肝炎ウイルス、デングウイルスなどの病原ウイルスの研究に長く携わってきた研究者が、ウイルスとは何か？から始まり、ウイルスによってもたらされる脅威だけでなく、ウイルスと自然界との関わり、ウイルスを利用した最新技術などを初心者でも理解できるようにわかりやすく解説します。	
1231100224	木	3・4時限	自然・科学	環境と生活－人類とエネルギー－	佐々木 一哉	○エネルギーの価値に関する基礎的な理解を深める。 ○エネルギーを消費することに関する基礎的な概念を学ぶ。 ○人類が抱えるエネルギー問題を俯瞰し、素の理解を深める。 ○様々なエネルギー資源とその活用の仕方、およびそれらの将来予測について学ぶ。	
1231100231	木	5・6時限	自然・科学	化学の世界－実感する化学A－	高田 晃	地球環境の諸問題を化学の視点から学びます。	
1231100232	木	5・6時限	自然・科学	化学の世界－毒の話－	橋本 勝	○私たちの周りには、様々な毒が存在することを知る。 ○毒物がどのように利用・悪用されてきたかを知る。 ○毒性の発現の理由の概要を知る。 ○中毒事故を防ぐ社会の仕組みを知る。 ○毒物研究が科学の発展に貢献してきたことを知る。	
1231100233	木	5・6時限	自然・科学	生物学の世界－分子生物学入門－	千田 峰生	高校で生物学を履修していない学生を対象に分子生物学の基礎について学ぶ。	
1231100234	木	5・6時限	自然・科学	生物学の世界－被ばく影響学概論－	三浦 富智	過去の被ばく事故の事例等を参考に人体に対する放射線被ばくの影響を生物学的観点から学ぶ	
1231100243	木	7・8時限	自然・科学	環境と生活－総合エネルギー学－	井岡 聖一郎	一般教養として、エネルギーに関わる者として備えておくべきエネルギーに関する基礎知識、社会実装の基本的な内容を学びます。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231100244	木	7・8時限	自然・科学	生物学の世界－遺伝子、ゲノム、DNA－	牛田 千里	以下について概説する。 ・遺伝子が私たちの体を規定するしくみ・遺伝子が親から子へと伝えられるしくみ ・遺伝子の実体であるDNAと遺伝情報の総体であるゲノム ・ゲノムプロジェクト・ヒトゲノム・ゲノムプロジェクトの成果と応用__遺伝子検査、遺伝子治療等	
1231100253	木	9・10時限	自然・科学	環境と生活－放射線の理解－	伊藤 巧一	○一般教養として、また医療保健に関わる者として備えておくべき放射線に関する基礎的な知識、放射線防護と被ばくに関する基本的な内容を学ぶ。 ○上記知識に基づいて、放射線が人体に及ぼす影響、および人間が放射線とどのように関わっているのかを学ぶ。	
1231100292	金	5・6時限	自然・科学	化学の世界－医療系の基礎化学－	堀江 香代	高校化学の内容を加えながら大学化学の基礎レベルまで解説します。日常に存在する物質や現象を理解するための基礎理論を中心に学びますが、医療技術者が行う生体試料の化学的分析など検査の基盤となる基礎化学および生化学についても学びます。※履修者は、医学部保健学科の検査技術科学専攻と放射線技術科学専攻の学生を優先します。	
1231100293	金	5・6時限	自然・科学	生物学の世界－生物多様性とその保全－	中村 剛之	○さまざまなレベルにおける生物多様性、種概念、種間関係、さらには自然環境の中での種のありようについて、分類学と生態学の両面から学ぶ。 ○具体例をもとに生物多様性の保全のために行われているさまざまな施策について紹介する。	
1231100294	金	5・6時限	自然・科学	農学の世界－入門・果物の経済学－	成田 拓未	○「青森県において生産される主要な農産物であるりんごを題材に、生産、流通、加工、消費、貿易等の各側面について、経済的な視点から学ぶ ○農業が、農産物を作る営みであるだけでなく、農産物をお金に換える営みでもあることを学ぶ ○農業が、人々の生活を豊かにするだけでなく、農家の生活を維持する営みでもあることを学ぶ」	
1231100306	金	7・8時限	自然・科学	生物学の世界－医療系の基礎生物学・細胞生物学－	宮崎 航	高校生物の内容を加えながら大学生物の基礎レベルまで解説します。ヒトを中心とした生物における生命活動、生命現象を理解するための基礎を中心に学び、専門科目の医療関連科目(生理学・解剖学・分子生物学)の基盤となることを目指します。※特に高校生物を選択しなかった学生におすすめします。もちろん、それ以外の学生も歓迎します。	
1231100316	金	9・10時限	自然・科学	生物学の世界－生物と地球の進化－	根本 直樹	○過去に地球上に生息していた代表的生物の特徴を学修する ○各地質時代にその生物相を出現させた地球環境の変化を学修する	
1231100317	金	9・10時限	自然・科学	環境と生活－弘前大学災害対応マネージャーその1 防災科学－	片岡 俊一	災害大国と言われる我が国において、一般教養として自然災害に関する様々な事項を学習しておくことは大切です。本科目では、地震・津波・風水害・火山災害等の自然災害のメカニズムについて学習します。併せて、青森県地域(地区)を中心とする防災計画の成り立ちや避難所運営に関する事項についても学習し、減災・防災に関する知識を深めます。※本科目は『弘前大学災害対応マネージャー』および『防災士資格受験』の関連科目です。	履修証明プログラム必修科目
1231100005	月	1・2時限	社会・文化	芸術－囲碁入門－	山田 史生	○碁の打ち方について、基礎から学ぶ。 ○囲碁の基本ルール等の習得および実戦 ※講師として、古川元(青森県最強位)古川こんゆ(日本棋院プロ棋士)をお招きし、望みうる最高レベルでの指導をおこないます。人生を豊かにするすべとして囲碁をおぼえてください。	
1231100084	火	1・2時限	社会・文化	くらし・文化－わら細工と手織物－	富田 晃	わら細工と手織物を実制作します	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231100114	火	5・6時限	社会・文化	言語学の世界－医療におけるノンテクニカルスキル入門－	野坂 大喜	一般的にスキルにはテクニカルスキルとノンテクニカルスキルとがあります。 専門技術であるテクニカルスキルに対して、ノンテクニカルスキルは専門分野を問わず論理的に考え、 相手にわかりやすく伝達するための技術です。医療分野だけでなく航空業界など多くの業界で広く取り入れられており、ロジカルシンキングや言語技術とも言われています。本授業では演習方式でノンテクニカルスキルについて学習し、医療での活用についても解説します。 言語技術の基本的知識の習得を通じて、論理的思考回路を身につけるとともに 大学生・社会人に要求されるコミュニケーション能力を獲得することが、本授業の目標です。	
1231100118	火	7・8時限	社会・文化	歴史・地理－考古学入門Ⅰ－	関根 達人	○歴史研究の方法として考古学という学問の特徴を理解します。 ○考古学の基本的な考え方や専門用語を身につけます。 ○考古学の基本である発掘調査成果について発掘調査報告書から読み解く力を養います。 ○発掘調査報告書に基づき過去の歴史を考える力を養います。	
1231100119	火	7・8時限	社会・文化	歴史・地理－中世・ルネサンスのヨーロッパ文化史－	出 佳奈子	○ヨーロッパ中世・ルネサンス期の文化史の変遷について学識を得ること ○とりわけ当該地域・時代の美術作品の成り立ちを、それを取り巻く社会との関係において理解できるようになること ヨーロッパ中世・ルネサンスのキリスト教社会において展開した美術を中心とする文化的産物が、当時の社会においてどのように受容されていたのかという観点から、当該地域・時代の文化史を概観します。中世・ルネサンスの教会や公共建築物において美術という文化領域の一部にはどのような視線が注がれていたのでしょうか。また、1400～1500年代のルネサンスの時代は、とりわけ美術の領域がその外観や内容、そして人々との関係を大きく変化させていきました。この変化はのちの「芸術」概念の登場にも大きく関係しています。「文芸復興」とも訳されるこのルネサンスの時代の文化は、中世文化に対してどのような位置付けにあるのでしょうか。この授業では、いくつかの美術作品を例にとりながら、「芸術」概念確立以前の美術と文化のつながりについて考察していきます。	
1231100120	火	7・8時限	社会・文化	歴史・地理－中国の歴史と生態環境－	荷見 守義	中国の歴史を生態環境から読み解く	
1231100135	火	9・10時限	社会・文化	政治経済・社会－経営学入門Ⅰ①－	熊田 憲	○われわれが生活する上での商品やサービスを生産・供給している企業の経営活動について学ぶ ○企業の経営活動がわれわれの生活にどのようにして支えているのか理解を深める	
1231100170	水	3・4時限	社会・文化	歴史・地理－考古学の基礎－	上條 信彦	○考古学全般における発掘から整理・分析に至る分析法および研究法(資料の対象、歴史学における位置づけ)について概説する。 ○考古学の歴史について世界と日本の双方から概説する。 ○考古学からみた日本の歴史(旧石器～古代が中心)について、最近の北日本の調査事例をふまえて通史的に講義する。	
1231100177	水	7・8時限	社会・文化	芸術－声楽入門Ⅰ－	杉原 かおり	○西洋音楽に基づいた音楽の発声の基礎に触れ、自然で無理のない歌い方を理解する。 ○声楽発声や演奏表現の歴史的変遷を、演奏や鑑賞を通して理解する。	
1231100222	木	3・4時限	社会・文化	法と社会B-日本国憲法①-【P小学校】	小野 昇平	○基本的人権および立法・司法・行政それぞれの担う役割についての説明。 ○憲法が問題となった具体的な事例を素材とし、その事例を通じて、日常生活の様々な場面で憲法が問題となることを説明する。 ○上記の事例のいくつかは、学校生活に関連するものであり、教員として日本国憲法の理念に沿った教育・学校運営を行うことの重要性を説明する。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231100223	木	3・4時限	社会・文化	法と社会B-日本国憲法②-【P中学校・特支・養教】	宮崎 秀一	○我が国の法体系と現行憲法制定の経緯および立憲主義の意義を理解する。 ○憲法に関する改正論議や人権の国際化などの動向を知り、自分なりの意見を表明できるようになる。 ○専門教科に関わらず、学校教育における人権学習や法教育の重要性を理解する。	
1231200043	木	3・4時限	社会・文化	法と社会B-日本国憲法③-【H・P・M・A2年次以上】	大竹 昭裕	○学校教員としてだけでなく社会を構成する一員として、日常生活を営む上で求められる憲法感覚・人権感覚を磨いていきたい。 ○基本的人権の問題に焦点を当て、現実生活の中で生じた具体的事例を通して問題の所在を把握し、それに関わる議論状況や裁判所の判断内容を的確に理解することができるよう授業を進めていく。	
1231200044	木	3・4時限	社会・文化	法と社会B-日本国憲法④-【S2年次以上】	伊藤 健	○基本的人権および立法・司法・行政それぞれの担う役割についての説明。 ○憲法が問題となった具体的な事例を素材とし、その事例を通じて、日常生活の様々な場面で憲法が問題となることを説明する。 ○上記の事例のいくつかは、学校生活に関連するものであり、教員として日本国憲法の理念に沿った教育・学校運営を行うことの重要性を説明する。	
1231100225	木	5・6時限	社会・文化	政治経済・社会－はじめての会計学－	内藤 周子	○財務諸表の仕組みや構造について理解を深める。 ○経営管理のための会計情報の活用方法についての知識を得る。	
1231100226	木	5・6時限	社会・文化	文学－日本近現代文学における〈ファンタジー〉〈SF〉〈アドベンチャー〉－	帆苺 基生	○この授業では日本近現代文学の中で〈SF〉や〈ファンタジー〉に分類できるのではないかなというものを扱い、読解・考察していきます。 ○日本の近現代文学では生活や恋愛といった日常生活を素材にした優れた文学がある一方で、いわゆる〈ファンタジー〉や〈SF〉等のジャンルに入れられるような虚構の度合いの高い作品も数多く書かれています。この授業ではこれらの作品を分析しながら背後にある社会的・文化的背景がどのように作品に反映されているかについて考察していきます。 ○日本近現代文学に対する知見を深めることを目標としています。	
1231100228	木	5・6時限	社会・文化	芸術－スティーロパンの製作と演奏－	富田 晃	小型スティーロパンを制作するとともに、本格的なスティーロパンの演奏をします。	
1231100229	木	5・6時限	社会・文化	芸術－モダンアート－	出 佳奈子	18世紀～20世紀前半にかけての近代美術(モダンアート)の歴史的展開を概観します。たとえば、モネやゴッホ、ピカソのような画家の名前を聞いたことがある人は多いでしょう。また、ピカソの独特な表現を目にして戸惑いを覚える人も一定数いると思います。ヨーロッパ近代に生み出された数々の美術作品は、約200年を通じて、その外観を大きく変化させていきました。この変化は「見た目」だけではなく、表現内容や鑑賞のあり方にも共通して見られるものです。そしてこの時期の美術は、その後の美術受容の成り立ちやアートのグローバル化にも大きな影響を与えています。この授業では、可能であればにこの時代のアーティストによる表現を体験したりしながら(ちょっとした制作)、いったいなぜこのような変化が生じたのかという疑問を起点として、モダンアート理論の理解を目指します。	
1231100230	木	5・6時限	社会・文化	芸術－現代のアートの思考－	佐藤 絵里子	美術を中心としたアートに触れる経験を通して、現代における教育、学問、キャリア、社会参加の場面で共通して重視すべき感性的思考を培う。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231100249	木	9・10時限	社会・文化	政治経済・社会－ゲーム理論の基礎－	小谷田 文彦	○この講義では、「ゲーム理論」を学びます。ゲーム理論とは、「相互依存関係がある状況での合理的な意志決定」に関する学問です。 ○社会においては、多くの場合、自分の行動は他人に何らかの影響を与えます。また、他人の行動を考慮した上で自分の行動を決定する必要がある場合もあります。このような状況を「相互依存関係のある状況」と呼びますが、その様な状況に直面した場合、我々はどのように考え、行動すべきでしょうか。この講義では、ゲーム理論を通してそのための思考プロセスを学びます。 ○相互依存関係は社会の様々な場面で登場することから、ゲーム理論は経済学、経営学、政治学、社会学、生物学、等を学ぶ際の必須の知識となっています。ゲーム理論を学ぶことによって、皆さんは社会を新しい視点から認識できるようになるでしょう。 ○ゲーム理論の講義の後に、近年進展の著しい行動経済学についても講義を行います。	
1231100250	木	9・10時限	社会・文化	芸術－音楽入門－	今田 匡彦	○音楽を中心としたさまざまな芸術の演奏、制作プロセスを通して、その形式(具体的に目に見える部分、音で聞こえる部分)を理解する(学識と理解)。 ○音楽を中心としたさまざまな芸術の演奏、制作プロセスを通して、その内容(目に見えない、音で聞こえないは文脈、背景)を理解する(学識と理解)。 ○音楽を中心としたさまざまな芸術の演奏、制作プロセスを通して、その様式(目に見え、音で聞こえるが、形式とは異なる部分)を理解する(学識と理解)。 ○形式、内容、様式相互の関連について見識を深める(学識と理解)。	
1231100252	木	9・10時限	社会・文化	芸術－アート入門－	出 佳奈子	アートに関する研究・実践・教育の基礎を学ぶ(副選考プログラム「アート・思考・創造」のコア科目)	
1231100287	金	5・6時限	社会・文化	思想－中国の思想－	山田 史生	道家思想の原点である『老子』をじっくりと読み解きます。あらかじめお断りしておきますが、かなり哲学(形而上学)的な内容になります。すぐに腑に落ちるような話にはならないということを覚悟したうえで受講してください。	
1231100288	金	5・6時限	社会・文化	政治経済・社会－社会学入門－	高瀬 雅弘	○「社会」というものをめぐる常識を疑う、批判的に考察する ○身近な生活を理解するための社会学の基礎的な概念を紹介する ○他の社会科学の各分野でも取り扱われる概念を取り上げ、それらが現代社会を理解する道具としてどれだけ有効であるかについて考える ○社会学のもつ可能性や限界について考えること	
1231100289	金	5・6時限	社会・文化	政治経済・社会－発想筋120%にアップ－	日比野 愛子	青森県は産業基盤が弱く、新産業を生みださないかぎり、未来はありません。この授業では、青森県の未来に必要なアイデアをどんどん出します。課題をみつけ、現実的・非現実的を問わず、その解決のためのビジネスアイデアを出せるようにします。	
1231100290	金	5・6時限	社会・文化	くらし・文化－スペイン、ラテンアメリカの言語と文化－	富田 晃	○スペイン語を学習しラテンアメリカの文化にふれる。スペイン語初級者のための授業です。 ○スペイン語文学ならびにその学問の近接領域についての学識を得るとともに、歴史・社会との関連を学びその意義を理解します。	
1231100291	金	5・6時限	社会・文化	言語学の世界－日本語学入門－	笹森 圭子	日本語の音声・音韻、文字・表記、語彙、文法について理解し知識を深める。普段母語として意識せず使っている日本語を、言語としての日本語として、他言語と比較・対照しながら日本語の特徴を見出す。	
1231100300	金	7・8時限	社会・文化	くらし・文化－武道の世界－	高橋 俊哉	柔道を通して武道文化を理解します。	
1231100301	金	7・8時限	社会・文化	芸術－音楽と哲学A－作曲を通して考察する－	清水 稔	・音楽行為を哲学的に捉えんとどのような関係性が生じているかということを、DTM(デスクトップミュージック)の創作を通して学ぶ。 ・動画の制作を通して、現代の音楽環境を考える上でのインターネット、動画といったメディアとの関連も学ぶことで、これからの芸術や教育の在り方について考察する。	PC操作ができることが条件

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231100302	金	7・8時限	社会・文化	芸術－彫刻入門Ⅰ－	塚本 悦雄	○講義で彫刻・芸術への知識・理解を深める。 ○彫刻の様々な技法、素材を紹介し、それらと表現の関わりについて考察する。 ○上記で得た知識・理解を生かし、各自がそれぞれテーマを決定し小さな木彫作品を制作する。	
1231100303	金	7・8時限	社会・文化	芸術－日本画入門Ⅰ－	蝦名 敦子	○日本画の様々な様式を鑑賞しながら、その理解を深める。 ○制作過程や基礎的な技法について学習し、植物のモチーフを使用して、小品を制作する。	
1231100304	金	7・8時限	社会・文化	言語学の世界－初めての日本語教育①－	笹森 圭子	日本語学習者や日本語の支援を必要としている人は年々増加し、多様化してきています。日本の中で暮らしていても、今後、その重要性は高くなります。この授業では、日本語教育・日本語を教えるということについて、基礎となる知識を深めます。 ○日本語を教えるとはどのようなことが多角的に考えます。 ○様々な日本語学習者について理解を深めます。 ○日本語支援が必要な成人・児童生徒についての基礎知識を得ることができます。	
1231100305	金	5・6時限	社会・文化	法と社会A－民事法入門－	吉村 顕真	これからの大学生活において関係してくるであろう民事上の諸問題(特に契約を中心として)について学んでいく。	
1231100313	金	9・10時限	社会・文化	思想－倫理学の基礎A－	横地 徳廣	愛し喜び、あるいは、悲しみ苦しみながら生きる私は、誰ともとりかえのきかない私です。こうした自分の固有性を(他者との関わり)が産み出しています。自己と他者とその関わりので成り立ちを確かめる手がかりを受講生のみなさんはこの授業で獲得します。	
1231100314	金	9・10時限	社会・文化	芸術－楽器の世界－	富田 晃	○「人間とは何か」という視点から楽器を研究することの意義を考察する。また、各楽器が、誰が、誰に、いつ、どこで、どのように作られ、奏でられてきたかを 知ることで、青森や世界の諸文化の実相に触れる。また、授業では講義に加え、楽器の実演や製作をまじえる。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231100315	金	9・10時限	社会・文化	言語学の世界ー協定校の学生と交流してみようー	小山 宣子	この授業は3つの部分があります。 1つ目は教師の講義で、主に言語学や日本語学に関する事を扱います。 2つ目は教師の講義について、留学生を交えて話し合うディスカッションの部分です。 3つ目は授業外での留学生との一対一の交流です。 授業外での交流の部分はタンデムeラーニングという1対1のオンライン会議の形式で行います。各々が都合の良い時間に、日本語とそれ以外の言語で、30分ずつ、1時間、半期の間に2人の人と3回ずつ、計6回行う予定です。国内学生が多くて、留学生が少ない場合は、国内学生の当たる回数を半分にする場合があります。1対1と言っても、話題は前もって決まっており、お互いに何を話すか準備しますので、特に難しくありません。これまでの学生には、授業外活動でありながら評判の良かった活動です。 授業中に行うディスカッションはグループで、日本語で行われますので、英語ができて、日本語が充分でない学生には対応できないので注意してください。 There are three parts to this class. The first is the teacher's lecture&comma; which mainly deals with linguistics and Japanese studies. The second part is a discussion of the teacher's lecture with the international students. The third is one-on-one interaction with international students outside of the classroom in the form of tandem e-learning. We plan to have one-on-one meetings 6 times during the semester&comma; at a time that is convenient for each student. If there are too many domestic students and not enough international students&comma; we may cut the number of times the domestic students meet in half; even though it is one-on-one&comma; it is not particularly difficult since the topics are decided in advance and both parties prepare what to say. This is an activity that has been well received by students in the past&comma; even though it is an out-of-class activity. Please note that even if you can speak English&comma; we will not be able to handle students whose Japanese is not good enough.	
1231100008	月	1・2時限	人間・生命	運動と健康Aー運動とリハビリテーションB 子どもから老人までー	高橋 純平	○子ども、成人、高齢者における身体的特徴と健康維持のための運動の意義について理解を深める。 ○各年齢層におけるスポーツ傷害および不活動等の弊害と予防的なリハビリテーションについての理解を深める ○上記の学習を通して、健康の維持増進、運動指導、将来の子育てに必要な基礎知識を身につける。	
1231100009	月	1・2時限	人間・生命	運動と健康Aー運動とリハビリテーションCー	平川 裕一	この授業では、障害とリハビリテーション、健康長寿と生活習慣病、運動が身体や心に及ぼす影響、健康づくりと介護予防等について学びます。	
1231100085	火	1・2時限	人間・生命	メンタルヘルスー心と体の健康を考えるー	高橋 恵子	○メンタルヘルスとは何か、健康教育に関する心と体のつながりを理解します ○疾病や心身の不調の予防的見地から、日常の生活習慣についての問題意識を高めます ○健康維持・増進に向けた実践的な方法論や技能を学びます	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231100116	火	5・6時限	人間・生命	生活と健康－人間発達とリハビリテーション－	小枝 周平	ヒトが生まれてから生じる心身の変化を人間発達といいます。 この講義では、子どもがどのように寝返る・座る・歩くといった運動や、話すこと・友達と遊ぶことといった社会性を身につけていくのかといった発達期の変化に関する内容についてお話します。 また、高齢者が老化によって心身にどのような変化を生じるのかといった高齢期に生じる変化について講義します。 さらに、リハビリテーションではこれらの人間発達にどのように関わっていくのかについて、具体的事例を通して解説していきます。 この講義を通して以下の理解を深めることを目指しています。(見通す力) 1. 人間発達についての理解を深める ・子どもの運動やこころ、日常生活の発達について知る ・高齢者の老化による運動や認知機能の低下について知る 2. 人間発達の支援に対するリハビリテーション職種の役割について理解を深める	
1231100124	火	7・8時限	人間・生命	生活と健康－ストレスと健康－	高橋 恵子	(1) ストレスが心身に及ぼす影響について考えます (2) レジリエンス(心の弾力性)を高める健康習慣や身体との対話を探索します (3) 自己理解と他者理解を促す心と身体、他者との対話を深めます	
1231100125	火	7・8時限	人間・生命	生活と健康－食と栄養と薬の関係－	岩井 邦久	○「なぜ食べるのか」、「『栄養がある』とはどういうことか」、「なぜお茶で薬を飲んではいけないのか」など、健康な食生活に関する基礎的なことを科学的に学びます。 ○健康な生活を送るための必要な情報を取捨選択できるようになるために、食品の働きを学び、栄養や健康との関係、薬への影響を解説します。	
1231100126	火	7・8時限	人間・生命	人を育む営み－子どもの健康－	扇野 綾子	○看護学や保健学の領域について、子どもの健康を身体や心の発達、家族や社会との関わり等から学びます。 ○看護学や保健学の知識や技能に基づいて、小児期にある人を育む営みについて、講義と演習を通して学びます。	
1231100137	火	9・10時限	人間・生命	心理学の世界－心理学の基礎－	松本 恵美	心理学の基本的な知識を概説的に紹介します。社会心理学・教育心理学の領域を中心に、援助行動、パーソナリティ、記憶、動機づけなどといったトピックスや、心理学の研究法について広く心理学を学びます。講義の中では心理現象への関心を深めるため実際の研究例を紹介することで、考える授業にしていきたいと思います。	
1231200028	水	3・4時限	人間・生命	運動と健康B【H・S2年次以上】－①－	高橋 俊哉	○健康教育についての基本的な考え方や学校健康教育の目標、機会、方法等について学びます。子どもが健康に生きる力を高めるための支援のあり方について考える。 ○健康科学に関する基礎的な知識を学習するとともに、各ライフステージにおいて実生活へ活用するための方策について概観する。 ○学校現場における運動指導(体育的行事や運動部活動指導など)について学ぶ。	
1231200029	水	3・4時限	人間・生命	運動と健康B【M・A 2年次以上】－②－	高橋 俊哉	○健康教育についての基本的な考え方や学校健康教育の目標、機会、方法等について学びます。子どもが健康に生きる力を高めるための支援のあり方について考える。 ○健康科学に関する基礎的な知識を学習するとともに、各ライフステージにおいて実生活へ活用するための方策について概観する。 ○学校現場における運動指導(体育的行事や運動部活動指導など)について学ぶ。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231100235	木	5・6時限	人間・生命	情報と健康・医学－保健・医療とデータ解析－	野坂 大喜	・データ解析学は医学・保健学分野での研究や地域施策の立案などにおいて求められる基礎知識であり、医学的有効性の判断、保健政策や健康プログラムの効果の評価に必須の知識になっています。 ・様々な保健指標や厚生労働統計資料の見方や考え方、医療系データの実務分析において必要な統計学に関する知識や手法を学びます。 - 実務教員としての説明]・医療機関において医療情報システムの開発・運用に関わった経験があり医療情報技師と第2種情報処理技術者資格を有している。 ・医療機関での臨床検査データの運用経験を元に保健・医療分野におけるデータ解析について講義します。	
1231100236	木	5・6時限	人間・生命	医学・医療の世界－人体のしくみと病気のなりたち－	森 文秋	この講義では4名の教員によって、人体の構造と機能、さらに基本的な病変について説明します。	
1231100237	木	5・6時限	人間・生命	運動と健康A－運動とリハビリテーションA－	尾田 敦	○運動機能の障害と支援、リハビリテーション看護の専門性の概要を理解し、リハビリテーションにはどのようなケアが必要か考えてもらいます。(土屋) ○障がい者を理解するため、障がい者のスポーツ活動の現況を教授し、障がい者について考えてもらうとともに、健常者のスポーツ活動で生じるけがの種類と原因を理解しリハビリテーションの基本的な考え方を理解してもらいます。(尾田) ○脳卒中のリハビリテーションの概要について学びます。骨折やスポーツ障害、末梢神経損傷など整形外科的疾患との違いを伝え、中枢神経の回復を講義やVTRなどを通して学習し、後遺症を持った障害者の生活スタイルについて理解を深めます。(高見)	
1231100238	木	5・6時限	人間・生命	人を育む営み－乳幼児の教育と社会－	武内 裕明	○将来育児や教育に何らかの形で関わる者として、乳幼児の養育やその教育が社会的にどのように扱われてきたかを学ぶ ○社会で子どもを育むという営みをどのように考えればよいか理解を深める]	
1231100239	木	5・6時限	人間・生命	心理学の世界－障害児の心理と支援－	天海 丈久	○様々な障害のある子供についての理解を深め、必要な配慮や支援について検討する基礎的な知識及び技能を習得します。 ○授業では、グループワークにより様々な障害を擬似的に体験しながら障害についての理解を深め、障害による学習上又は生活上の困難に対する必要な配慮や支援を検討します。	
1231100245	木	7・8時限	人間・生命	人間の尊厳－人間の尊厳A－	小山内 隆生	○ノーマライゼーションという視点から人間の尊厳について考える授業です。 ○人間の尊厳についての考え方を学ぶとともに、現代の医療技術の進歩の抱える倫理面の問題や、現代社会の多様化する人々の構成や、多様化する価値観を学びます。 ○障害者の処遇の変遷を通して、人間の尊厳を侵害した事例を学ぶとともに障害者の処遇改善の取り組みを紹介し、人間の尊厳を尊重する考え方を学びます。	
1231100246	木	7・8時限	人間・生命	医学・医療の世界－医学研究の進歩A－	土岐 力	オムニバス形式で、各領域の研究者が専門分野(医学研究)における進歩について 情報を提供します。	
1231100247	木	7・8時限	人間・生命	人を育む営み－教育学への誘い－	小野 恭子	○各教科の教育の目的や方法、意義、特徴を論じます。 ○教科を横断する教育科学諸分野の目的や方法、意義、特徴を論じます。 ○学校外教育分野の目的や方法、意義、特徴を論じます。 教育学に関する多様な分野のいずれかを専門とする教員が、分野ごと各1回ずつ講義を行います。全15回の講義それぞれにおいて、各分野の研究概要(研究概要と研究の意義)および研究方法(学び方)が示されます。なおその際、分野別の講義とはいえ、「教育」とは「こうありたい・こうあるべきだ」という人間ないし人間関係の実現を目指した営み」と言えることから、どのような教育問題であっても、全く無関係な講義は一つもなく、何らかのヒントが得ることができるという姿勢が重要です。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231100254	木	9・10時限	人間・生命	人を育む営みー教育の場における試行錯誤と幸福Aー	清水 稔	哲学討論の授業です。毎回、テーマをもとに哲学の話聞いたのちにグループ毎にそのテーマについて討論をします。それをもとに自分の考えをエッセイとして書き綴り、最終的には冊子にまとめます。木村敏とジャック・ラカン理論が中心となりますが様々な現代思想を取り上げます。全体を通して「生きること」とは何かを問います。議論を通して正解を求めるのではなく、多面的な見方を養うことで未来の選択の幅を広げることを目的とします。	PC操作ができることが条件
1231100295	金	5・6時限	人間・生命	医学・医療の世界ー最新医学の現状Aー	漆館 聡志	各分野の専門家が、医療と医学の現状・限界・問題点に関する情報を提供します。	
1231100296	金	5・6時限	人間・生命	医学・医療の世界ー薬の科学(なぜ薬は効くのか?)ー	西塚 誠	高齢化社会の到来や医療費の高騰等への対応のために、予防医学やセルフメディケーションへの期待が高まっている。しかしながら、広く社会に浸透するためには、各個人が薬の作用と副作用を理解することが必要不可欠である。本講義では、処方薬ならびにOTC医薬品について、その成分の薬理作用や副作用についてできるだけわかりやすく解説する。また、この授業を通じて、服用する薬の含有成分と作用機序を調べる習慣を身に付けることを目標とする。ただし、本講義で扱う薬やその薬理作用については、現在使用されている最新のものを扱うわけではなく、また、臨床における服薬指導について説明や議論をするわけではない。そのため、将来臨床の現場で働くための知識を得ること目的とするのではなく、「日常生活で使用する薬に興味がある」、「創薬開発に興味がある」という学生に受講してもらえればと思います。	
1231100297	金	5・6時限	人間・生命	人を育む営みーことばと発達ー	田中 拓郎	子どもの言語がどのように発達するか、関係する理論や子どもの文章から考えていきます。毎回、指定された課題図書該当箇所を予習していただくことを求めます。	
1231100298	金	5・6時限	人間・生命	人を育む営みー子どもの生活と生活時間ー	小野 恭子	子どもの生活時間調査から子どもの生活の実態を理解し、自身の生活設計に結びつけて考える。子どもの生活に影響を与えている事柄についての理解を深める。	
1231100299	金	5・6時限	人間・生命	運動と健康Aーヨガの理論と実践ー	高間木 静香	○日常生活に応用できるヨガの理論について学習する。 ○ヨガのアーサナやプラーナヤーマを実践する。 ○自己の心身の状態に目を向け、より良い状態にするための意識や態度を養う。	
1231100307	金	7・8時限	人間・生命	運動と健康Aー健康運動実践①ー	上野 秀人	・学習活動・社会活動の基盤となる健康・体力を向上させるための身体運動あるいは心身トレーニングの原理と実施方法を学習することを目指します。 ・バドミントンの動きづくりやスポーツ傷害・外傷の予防のためのフットワークやストレッチングも実施する。 ・毎時間、バドミントンの実技を行いながら学ぶ。	
1231100308	金	7・8時限	人間・生命	心理学の世界ー身近な対人関係の維持と崩壊①ー	古村 健太郎	心理学は、人々の心が社会生活の様々な場面でどのように動くのかを実証的研究によって明らかにしてきました。本授業では、日常生活における様々な場面、特に対人関係を取り上げ、我々の心がどのように動くのかについて学んでいきます。	
1231100309	金	7・8時限	人間・生命	人を育む営みー育児と子どもの発達Aー	増田 貴人	育児について、子どもが健やかに育っていくために必要な環境に焦点をあてて論じる。なかでも、障害・非定型発達や社会的養護など、特別な支援を要する子どもたちへの生活援助について概説する。	
1231100310	金	7・8時限	人間・生命	人を育む営みー美術教育学入門Aー	佐藤 絵里子	○小学校図画工作科で行われている「造形遊び」が、教育制度上の規定に留まるものではなく、社会形成や人間形成に関する根源的・革新的な芸術教育の思想として広がりをもつことを背景や理由とともに理解し、記述する ○現代の日本における図工・美術教育の変遷や「造形遊び」に関する基本的知識を踏まえて、他者とともに現実の社会的文脈を想定した課題を解決する	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231100311	金	7・8時限	人間・生命	生活と健康－食と健康－	藤田 あけみ	○栄養の意義、栄養と健康の基礎知識を理解する。(太田) ○健康な生活を送るために重要な食事と排泄の関係を理解し、健康を維持するための食生活と排泄コントロールについて理解を深める。(藤田) ○健康な生活を送るための食行動がとれるよう、食をめぐる現状についての理解を深め、食生活について考える。(高間木) ○中等教育で学んできたことをもう一度思い浮かべることや定義を確認することにより、いかにあいまいな中で食品の役割を捉えているかを認識する。(佐藤)	
1231100312	金	7・8時限	人間・生命	生活と健康－生活習慣と健康－	小倉 能理子	人生を健康的に生きるために、疾病(生活習慣病を中心に)を予防し、健康を維持・増進するための具体的な生活習慣について学ぶ。 また、自分の生活を振り返り、よりよい生活習慣を考える。	
1231100318	金	9・10時限	人間・生命	メンタルヘルス－幼少期トラウマの癒しと栄養による精神的健康の増進－	阿部 由紀子	○幼少期、日常的に繰り返しマルトリートメントを受けた経験が、その後の精神的健康に及ぼす影響について理解するとともに、幼少期トラウマの癒し方について学習する。 ○生理学のうち、栄養素の吸収過程などを中心に学習し、それらの知識に基づき、食生活および栄養が精神的健康に関わっていることを理解する。 ○認知療法、精油、音楽聴取など、上記の他にメンタルヘルスの維持および増進に役立つと考えられる方法について学習する。	
1231100319	金	9・10時限	人間・生命	医学・医療の世界－感染症から身を守る－	浅野 クリスタ	感染症は、細菌、ウイルス、真菌など肉眼では見ることができない微生物によって起きる疾患です。他の疾患と大きく異なることは、感染が拡大し、時には世界的な流行を起こすことです。世界では、新型コロナ、エイズ、新型インフルエンザ、MERS、エボラ出血熱、ジカ熱など次々と新しい感染症が問題となっています。一方、結核、デング熱など過去の感染症と考えられていた感染症も復活してきています。この授業では、感染症を起こす微生物とはどのようなものであるかを知った上で、感染及び感染症のメカニズム、感染症の予防について学んでください。	
1231100320	金	9・10時限	人間・生命	医学・医療の世界－身体をはかる－	漆坂 真弓	健康の維持・増進のためには自分自身の今の身体の状態を知ることが大切です。身体の状態を知る方法として、ふだん簡単に測定できるものから、特別な機器を使用して測定できるものまで、いろいろとあります。 本科目は、みなさんが自分自身の身体を知るために、測定数値の基本を示す意味を考えながら、自分の身体に興味を持つこと、実際に自分たちで機器を用いて測定すること(体験)を中心に授業を行います。さらに、測定した身体の状態を示す数値をもとに自分自身の生活習慣について見直し、より健康の増進をはかるために自分の生活を工夫する力が持てることを望みます。	
1231100321	金	9・10時限	人間・生命	運動と健康A－リハビリテーションとメンタルヘルス－	太田 一輝	この授業では、多様な人の健康づくりとスポーツやリハビリテーションとメンタルヘルスについての講義を行い、みなさん自身が学んだことを自分自身の人生の中で活かしていけるよう、健康や障害について考えるきっかけを作ります。	
1231100322	金	9・10時限	人間・生命	情報と健康・医学－保健・医療におけるデータサイエンスと数理モデル－	松谷 秀哉	・大学生活や研究・医療の分野で必要となる情報技術を修得する ・デジタル情報の概念と構造の基礎を学び、データ解析として医療画像や感染症における数理モデルを修得する	
1231200039	水	7・8時限	多地的地域志向科目	地域の多様性と活性化－地域とアートワールド－	朝山 奈津子	○地域に合った「アート」の持続可能性を戦略的に学びます。 ○「なんでもアート」に陥らないために、アートの概念を学びます。 ○弘前の「アートワールド」の問題点を見つけ出し、その改善や解決のために何ができるか、どこにどのように働きかけるべきかを考えます。 ○以上により、アートそれぞれの「カッコよさ」をアピールする手法を学びます。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231100102	火・木	5・6時限	多言語	ドイツ語 I ①【H・P・S・A】	山本 由起	○当該言語を初めて学ぶ学生を対象とする内容です。 ○その言語の発音や基本文法などを総合的に学ぶ内容です。 ○1人の教員が週2回を1セットとして担当する授業形態です。 ○複数のクラスが開講されますが、共通教科書、共通内容によって授業を運営します。	※週2回 開講
1231100103	火・木	5・6時限	多言語	ドイツ語 I ②【M (学籍番号奇数)】	田中 美由紀		
1231100104	火・木	5・6時限	多言語	ドイツ語 I ③【M (学籍番号偶数)】	相馬 伸子		
1231100105	火・木	5・6時限	多言語	フランス語 I ①【M医(学籍番号奇数)】	JANSON MICHEL	○当該外国語を初めて学ぶ学生を対象とする内容です。 ○その言語の発音や基本文法、基本表現、コミュニケーション能力などを総合的に学ぶ内容です。 ○1人の教員が週2回を1セットとして担当する授業形態です。 ○複数のクラスが開講されますが、共通教科書、共通内容によって授業を運営します。	※週2回 開講
1231100106	火・木	5・6時限	多言語	フランス語 I ②【P・M保・S・A】	小笠原 淑子		
1231100107	火・木	5・6時限	多言語	フランス語 I ③【H】	工藤 貴子		
1231100108	火・木	5・6時限	多言語	フランス語 I ④【M医(学籍番号偶数)】	松山 和子		
1231100109	火・木	5・6時限	多言語	中国語 I ①【M・P】	楊 天曦	○当該言語を初めて学ぶ学生を対象とする内容です。 ○その言語の発音や基本文法などを総合的に学ぶ内容です。 ○1人の教員が週2回を1セットとして担当する授業形態です。 ○複数のクラスが開講されますが、統一教科書、統一進度によって授業を運営します。	※週2回 開講
1231100110	火・木	5・6時限	多言語	中国語 I ②【H(文化創生課程)】	許 紅		
1231100111	火・木	5・6時限	多言語	中国語 I ③【H(社会経営課程)】	李 淑賢		
1231100112	火・木	5・6時限	多言語	中国語 I ④【S・A】	顧 国玉		
1231100172	水・金	5・6時限	多言語	ドイツ語 I ④	山本 由起	○当該言語を初めて学ぶ学生を対象とする内容です ○その言語の発音や基本文法などを総合的に学ぶ内容です。 ○1人の教員が週2回を1セットとして担当する授業形態です。 ○複数のクラスが開講されますが、共通教科書、共通内容によって授業を運営します。	※週2回 開講
1231100173	水・金	5・6時限	多言語	フランス語 I ⑤	JANSON MICHEL	○当該言語を初めて学ぶ学生を対象とする内容です ○その言語の発音や基本文法などを総合的に学ぶ内容です。 ○1人の教員が週2回を1セットとして担当する授業形態です。 ○複数のクラスが開講されますが、共通教科書、共通内容によって授業を運営します。	※週2回 開講
1231100174	水・金	5・6時限	多言語	中国語 I ⑤【H以外】	楊 天曦	○当該言語を初めて学ぶ学生を対象とする内容です ○その言語の発音や基本文法などを総合的に学ぶ内容です。 ○1人の教員が週2回を1セットとして担当する授業形態です。 ○複数のクラスが開講されますが、共通教科書、共通内容によって授業を運営します。	※週2回 開講
1231100175	水・金	5・6時限	多言語	中国語 I ⑥【H(文化創生課程)】	許 紅		
1231100176	水・金	5・6時限	多言語	中国語 I ⑦【H(社会経営課程)】	李 淑賢		
1231110001	集中		社会・文化	くらし・文化ー地域の芸術文化振興ー	朝山 奈津子	○制度としての芸術、地域の文化格差、文化権などの観点から、世界・全国と青森・弘前の現状を理解する。 ○地域の芸能や伝統文化の振興政策について理解する。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231110002	集中		自然・科学	物理学の世界－環境放射線計測学演習－	大森 康孝	原子力災害対策指針に基づく緊急時モニタリングの体制等をふまえ、物理学的手法を用いた環境放射線モニタリングに関する知識・技術を総括的に教育する。空間線量率ならびに空気中や土壌中の放射性物質濃度のモニタリング実習や可搬性のあるダストサンプラを用いたエアロゾルのサンプリング、 γ 線スペクトロメータを用いた γ 線波高分析の現場実習を青森県および福島県で実施する。青森県では、原子力関連施設が立地する下北半島において天然放射性核種を対象にしたバックグラウンドの評価をおこなう。さらに、弘前大学において定期的にエアロゾルのサンプリングをおこないバックグラウンドの変動を評価する。福島県では、浪江町等において人工放射性核種と天然放射性核種の評価をおこなうとともに、それらの評価で重要となる波高分析における両者の適切な分離手法を習得する。得られたサンプルや波高分布データを学内で分析・解析を行い、それぞれのデータから内部被ばくおよび外部被ばく線量を推定する。これらの講義及び実習を通して、各被ばく状況に応じた放射線防護措置を判断する能力を習得する。	
1231110003	集中		自然・科学	生物学の世界－放射線生物影響モニタリング学演習－	三浦 富智	国際放射線防護委員会(ICRP)が環境の放射線防護を目指して導入した「標準動物及び植物」の考え方に基いて、環境モニタリングとしての放射線影響調査について学ぶ。本科目では、ICRP Publication 108を概説するとともに、放射線被ばくによる生体影響のメカニズム、過去の放射線関連事故や研究により明らかとなった放射線生物影響、そして、放射線被ばくによる生物影響の解析に用いられるエンドポイントを学習するとともに、フィールド調査や実験室の演習を通して具体的な手法を習得する。放射線影響として染色体損傷、幹細胞影響、突然変異および繁殖成功率の低下を取り上げ、ネズミ類を対象としたこれまでの取り組みを弘前大学被ばく医療総合研究所および環境技術科学研究所(六ヶ所村)で学習するとともに、新潟大学農学部(新潟市)および福島大学環境放射能研究所(福島市)では繁殖成功率や突然変異の解析事例をそれぞれ学ぶ。また、浪江町では動物の調査に必要な環境測定や環境試料採取を学習する。さらに、放射線影響研究所(広島市)を訪問し、放射線感受性が高い幹細胞の影響解析法や原爆被爆者の染色体転座解析を例に染色体転座法の有用性と課題を学習し、汚染地域における野生動物の長期間放射線暴露の解析法として生物学的半減期の長い染色体転座による影響評価法を理解する。講義については、効果的学習を促進するため、オンデマンド教材および演習用教材を準備し、事前学習およびトレーニングを推奨する。	
1231210002	集中		グローバル	世界の芸術・文学－近現代の音楽文化史－	沼野 雄司	○20世紀以降の音楽文化について、その社会的背景を踏まえて音楽の創作と実践の歴史を学ぶ。 ○グローバル化する世界の中で、古今東西の音楽文化がどのように影響しあい、展開しているかを理解する。	
1231210003	集中		グローバル	現代日本学－津軽ライフ:英語で地元を語ろう－	多田 恵実	自文化について学び、身近な文化についての見識を深め、世界語である英語を使い、自分の考えを自らの言葉で世界に発信できるようになる。Tsugaru Life: English Through Local TopicsのテキストをベースにCLIL(内容言語統合型学習)で英語を学びながら、観光ガイドにはない津軽の文化を知ることによって、自らの基本となる故郷のごく身近な文化に対する気づきを高め、それを調査し、英語で発表する。中間課題と最終課題である2回のプロジェクトではそれぞれ口頭発表と、ポスター発表を行う。課題のテーマを選ぶ過程とその理由を意識し、フィールドワーク、インタビュー、文献検索により発見した情報の整理と考察を深め、発表につなげていく。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1231210004	集中		グローバル	国際地域・社会・文化－国際放射線科学特論－	田副 博文	被ばく医療総合研究所が主催する国際放射線科学コラボレーションセンターセミナーとして国内外の放射線科学専門家による放射線防護、放射線生物学、放射化学に関する基礎的知見・最新の研究成果の発信を実施している。講師は被ばく医療総合研究所が研究教授・研究准教授として認める学外研究者を中心となり、英語を発表言語として実施している。年間3～4回のライブセミナーを実施するほか、過去のセミナーについてもオンデマンド視聴することが可能であることから、研修生のスケジュールに合わせたオンライン視聴が可能であることに加え、英語が堪能でない学部学生に対しても視聴速度の調整や再視聴が可能であり、学習効果を高めることができる。	

2023年度後期
弘前大学グリーンカレッジ
開放科目一覧

2023年度 後期 グリーンカレッジ開放科目一覧

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100028	月	9・10時限	グローバル	国際地域・社会・文化－地域研究入門－	白石 壮一郎	○「社会問題」というみなさんはなにを思い浮かべますか？今年度のこの講義は、世界各地の社会問題について「知る」だけでなく「考える」ための時間です。「考える」ためのものの見方をできるだけ身につけてもらいます。 ○世界じゅうの社会問題は、項目別に整理すると重要課題について把握しやすくなります。2015年にUN総会が採択したSDGsがよい例です。SDGsでは、17のアジェンダを課題として掲げています。しかし・・・現状についての経験的な感覚をもっていなければ、SDGsもたんなるスローガンのように見え、興味を持ちにくいかもしれません。 ○そこで、この講義ではテキストをもちいて世界各地の「現地事例報告」の著者たちの経験を通して学んでいきます。知識は講義に参加しながら頭に入れていけばよいのですが、事例から「考える」ためにもっとも重要なのは、じつは「状況についての想像力」です。これを鍛えていきましょう。	
1232100029	月	9・10時限	グローバル	国際地域・社会・文化－トランスナショナルな音楽－	諏訪 淳一郎	音楽を聴くことは、生物としてのヒトが人間という存在であることの重要な一条件である。しかし、世界の音楽文化は多様であって、その背景には複雑な事情が存在している。この授業では、多角的な知性を育みながら世界の中の一地域で暮らすことの特異性と、人間の音楽による営みの普遍性という二つの側面を有する音楽がもつ文化的な力について理解を深める。	
1232100030	月	9・10時限	グローバル	国際地域・社会・文化－美術史研究入門－	出 佳奈子	○美術史研究の方法論を理解する。 ○社会における美術やイメージの多様な役割について考察する。 ○ベストという致死率の高い疫病と絵画メディアとのつながりを考察する。	
1232100031	月	9・10時限	グローバル	地球環境・気候－21世紀の地球環境問題①－	石田 清	経済成長や人口増大により、人類は20世紀に深刻な環境問題に直面しました。環境問題の解決は21世紀の人類の重要な課題です。この授業では、専門分野の異なる多くの教員から、現代の様々な環境問題の発生要因や実態、克服にむけた取り組みを自然科学と社会科学の両面にわたって学ぶことにより、地球規模の環境問題について深く考える力を身につけます。専門分野の異なる5人の教員が社会科学と自然科学にまたがる下記の内容を分担してカバーします。 (1) 発展途上国と環境問題(人口増加、森林破壊) (2) 気候変動と環境汚染へのアプローチ(地球温暖化、オゾン破壊、酸性雨) (3) 水資源・食料生産へのアプローチ(砂漠化、土壌侵食、食糧問題) (4) 自然生態系破壊へのアプローチ(海洋汚染、森林減少、野生生物の絶滅) (5) 人類を含む生態系へのアプローチ(生物資源枯渇、外来種、環境保全) (6) 環境問題に関する取組(特徴、政策、国際交渉) 担当する教員の専門分野により、内容が若干変化しますので、授業内容予定も参考にして下さい。	
1232100032	月	9・10時限	グローバル	持続可能な開発目標SDGs－多文化共生の社会と言語－	吉田 美穂	多文化共生に向けた日本社会の現状と課題を、特に言語の観点から把握する。外国との比較を含め、日本の在留外国人政策や地域の多文化共生の実態を、言語と社会の関係に注目しながら多角的に学ぶ。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100073	火	9・10時限	グローバル	持続可能な開発目標SDGsー持続可能な開発目標SDGs17Goals②ー	宋 美蘭	社会的・生態的な持続可能性を脅かしている様々な課題を克服するために、あらゆる領域において持続可能な社会の構築に取り組む「共・協創教育(共に協力して創る「共・協創の基本原則」)」への転換が強く求められています。本授業では2015年9月に国連サミットで定められた国際社会共通の目標として掲げているSDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)17目標を取り上げ、SDGsとは何かを知ると同時に世界規模で起きている様々な問題について学び、理解を深めることを目指していきます。 「持続可能な開発目標SDGs」は、全ての人類が発展を遂げながら生存を続けられることを目指して、国連で採択された目標です。持続可能な開発を実現し、目標を達成するためには、大きく「環境」「社会」「経済」の3要素が調和している状態を維持することが重要だと言われています。 本授業ではSDGsの17目標の具体的な課題やその理念を理解しつつ、上述の3つの要素、すなわち、①環境＝地球温暖化、エネルギー問題の深刻化、自然災害の増加、水問題の深刻化、気候変動、生物多様性の喪失などの問題、②社会＝貧困、教育機会の不平等、人種差別、紛争の長期化・複雑化、健康と福祉、消費と生産などの問題、③経済＝経済格差の拡大、若年失業率、雇用なき都市化の進行の問題など、それぞれの課題について学びつつ、同時に持続可能な社会づくりのための施策・解決策を受講生とともに議論し考えていきます。 なお、本授業では、文系・理系の枠を超えた学問分野領域横断の教員によって構成され、それぞれの教員の専門とSDGsとの関係を具体的に教授していただきます。SDGs解決に向けて、学生自らが日々の生活の中で学んだことを意識し、持続可能な価値創出が生成されることを目指していきます。	
1232100058	火	3・4時限	グローバル	持続可能な開発目標SDGsーSDGsのつかい方②ー	永長 一茂	SDGsは理想論的な目標だと思われがちだが、理念が異なる人や企業にも幅広く利用してもらうための仕組みを内包する。授業ではSDGsの構造や、様々な視点に立った活用法を学ぶ。	
1232100068	火	9・10時限	グローバル	世界の芸術・文学ー生態芸術論ー	高橋 憲人	○芸術とは、環境のなかでモノゴトを鋭敏に「知覚する」ことと、それらを素材に新たなモノゴトを「創造する」ことがつねに往還を続けるエコロジカルなプロセスです。この授業では、環境、人間の知覚、芸術創造に通底する肌理(texture)あるいは織地性(textility)へのアプローチを通して、このプロセスについての理解を深めます。	
1232100069	火	9・10時限	グローバル	現代日本学ー日本の表象文化ー	諏訪 淳一郎	教科書を参考にしながら『鬼滅の刃』を読解し、そこに現れる表象について比較文化的な理解を深める。	
1232100070	火	9・10時限	グローバル	グローバル経済・産業ー中国経済と日本ー	黄 孝春	中国経済はアメリカに次ぐ世界第2の経済大国にまで成長し、近年の米中経済摩擦からみて中国経済の存在はますます大きくなっている。また日本の隣国ということもあって常に日本経済から影響を受けてきたし、また日本への影響は今後ますます強くなると考えられる。 この授業では、複数の視点を組み合わせた複眼的な思考で中国経済をとらえたい。具体的には歴史の中で、グローバルの中で、都市・農村の二重構造として、地域の集合として、そして経済発展の制約要因から中国経済を総合的には理解したうえで「中国崩壊論」と「中国脅威論」というまったく異なる中国経済論の問題点を検討する。 そのうえで日本との関係について考察したい。今般の新型コロナウイルスが日本と中国の経済に与える影響についても触れる予定。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100071	火	9・10時限	グローバル	地球環境・気候－21世紀の地球環境問題②－	伊藤 大雄	○専門分野の異なる多くの教員から、現代の様々な環境問題の発生要因や実態、克服にむけた取り組みを自然科学と社会科学の両面にわたって学びます。 ○土砂災害や災害軽減策など、自然災害とその対応に係ることを学びます。 ○地球温暖化、オゾン層破壊や酸性雨など、気候変動と環境汚染に係ることを学びます。 ○砂漠化、土壌侵食、食料問題など、水資源・食料生産に係ることを学びます。 ○海洋汚染、森林減少、野生生物の絶滅など、自然生態系破壊に係ることを学びます。 ○生物資源枯渇、外来種、環境保全など、人類を含む生態系に係ることを学びます。 ○排出量取引や環境税など、環境問題に関する行政施策について学びます。 担当する教員の専門分野により、内容が若干変化しますので、授業内容予定も参考にして下さい。	
1232100072	火	9・10時限	グローバル	地球環境・気候－地球温暖化と防災－	谷田貝 亜紀代	顕在化する地球温暖化により、誰もが実感するように降雪日数や積雪に覆われる期間は減少しています。湿潤アジア地域では豪雨が頻発すると予測されており、中近東などの乾燥・半乾燥地域はより乾燥すると予測されています。しかし、気候システムに内在するエル・ニーニョ現象などの大規模循環はどう変わるのか、台風は、より日本に、弘前に来るようになるのか？などは確かな予報が難しいのが現状です。 そこで本講義では、気象学の基礎と、全球的な地球温暖化の概要を説明した後、地域の問題を考えます。防災気象情報の実際について、気象庁青森地方気象台の専門家の方をゲストスピーカーとしてお招きし、実際の弘前周辺の気象、防災情報の作られ方についてお話を伺います。最後に、全球規模の地球温暖化と、豪雨、豪雪、洪水、土砂災害などの関係を考えます。	
1232100074	火	9・10時限	グローバル	持続可能な開発目標SDGs－弘前大学災害対応マネージャーその3 原子力災害の理解－	三浦 富智	東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所事故による原子力災害について知り、風評被害等の被災地の現状について正しく理解するだけでなく、我が国におけるエネルギー事情等、原子力発電の必要性などを考察する。	履修証明プログラム必修科目
1232100119	水	7・8時限	グローバル	現代日本学－現代日本文化論－	諏訪 淳一郎	アニメ『千と千尋の神隠し』の視聴しながら、日本と世界の文化の比較を行い、それぞれに関する知識を深める。	
1232100120	水	9・10時限	グローバル	国際地域・社会・文化－異文化間コミュニケーション－	長尾 和子	異文化間コミュニケーションについての講義を聞き、各回のテーマに関して、留学生と日本人学生による小グループでの意見交換と考察を行います。各回のテーマに出てくる概念を元にして、自分や相手の体験を語り合い、ケーススタディを分析していく中で、今後、起こりうる異なる背景を持つ相手とのコミュニケーションを円滑に行えるような知見を養います。 授業外活動として、テラタンデム(言語交換 *ペアにより日本語中心、日本語と英語、日本語と学習している言語、など異なります。)	
1232100121	水	9・10時限	グローバル	国際地域・社会・文化－歴史・認知言語学入門－	郡 千寿子	この授業では、さまざまな角度から言語を探究します。まず、日本語について学び、次に英語の歴史について学び、最後に認知言語学に関連する様々なトピックを紹介します。	
1232100168	木	9・10時限	グローバル	国際地域・社会・文化－多文化共生社会・教育・運動：グローバル時代における多様性と包摂性②－	宋 美蘭	多様な人々が社会に参画でき、すべての人に人権が保障される多文化共生社会を教育と運動の観点からその過去・現在・未来の時間の中でアプローチをし、グローバル時代における多様性と包摂性の問題を取り上げる。具体的には、日本・韓国・アメリカの事例を取り上げ、不登校の子ども等の国内外の問題、在日韓国・朝鮮人教育、識字教育と夜間中学、ニューカマーの在日外国人教育の問題、アメリカの公民権運動、労働運動、先住民の運動、女性・性的マイノリティの運動など様々なアメリカの社会運動の歴史を見ながら、多文化共生社会の実現に向けた課題を考える。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100148	木	5・6時限	グローバル	世界の芸術・文学ー現代の音楽入門ー	今田 匡彦	○音楽という現象を20世紀以降の現代音楽、ポップミュージック、諸民族の音響、サウンドスケープ、同時代性、グローバリゼーション等を基盤にオーヴァービューし、音楽についての見識を深める。 ○上記を踏まえ現代の音楽の文化背景を理解する。	
1232100167	木	9・10時限	グローバル	世界の芸術・文学ー芸術身体論:ピアノ入門②ー	今田 匡彦	○世界の芸術・芸能と身体との関係についてピアノという楽器を通して見識を深める。 ○世界の芸術・芸能と身体の関係についてその文化背景についても理解する。	
1232100219	金	5・6時限	グローバル	国際地域・社会・文化ー音楽史研究入門ー	朝山 奈津子	○作曲家ヨハン・ゼバスティアン・バッハ(1685-1750)の音楽活動と主要作品の概要を掴む。 ○音楽の研究手法・研究課題の概要を見渡し、「音楽学」、「音楽史」という学問分野の成立と目的を知る。	
1232100226	金	5・6時限	グローバル	持続可能な開発目標 SDGsー世界の健康問題ー	漆館 聡志	各分野の専門家が、医療と医学の現状・限界・問題点に関する情報を提供し、医療の面からSDGsに関わる健康問題を考えます。	
1232100237	金	9・10時限	グローバル	地球環境・気候ー21世紀の地球環境問題③ー	石田 清	経済成長や人口増大により、人類は20世紀に深刻な環境問題に直面しました。環境問題の解決は21世紀の人類の重要な課題です。この授業では、専門分野の異なる多くの教員から、現代の様々な環境問題の発生要因や実態、克服にむけた取り組みを自然科学と社会科学の両面にわたって学ぶことにより、地球規模の環境問題について深く考える力を身につけます。専門分野の異なる5人の教員が社会科学と自然科学にまたがる下記の内容を分担してカバーします。 (1)発展途上国と環境問題(人口増加、森林破壊) (2)気候変動と環境汚染へのアプローチ(地球温暖化、オゾン破壊、酸性雨) (3)水資源・食料生産へのアプローチ(砂漠化、土壌侵食、食糧問題) (4)自然生態系破壊へのアプローチ(海洋汚染、森林減少、野生生物の絶滅) (5)人類を含む生態系へのアプローチ(生物資源枯渇、外来種、環境保全) (6)環境問題に関する取組(特徴、政策、国際交渉) 担当する教員の専門分野により、内容が若干変化しますので、授業内容予定も参考にして下さい。	
1232100112	水	5・6時限	自然・科学	物理学の世界ー放射線防護概論ー	大森 康孝	放射線防護を構成する放射線計測、被ばく線量評価、防護の概念に関して実践例を交えて体系的に学ぶ。	
1232100016	月	3・4時限	社会・文化	芸術ーアートとシティズンシップー	佐藤 絵里子	アート作品の中には、特定の社会問題に目を向けさせるものがある。この授業では、美術を中心とするアート鑑賞を通して、個人と社会の歪みを見つめ、自分の言葉で思考し表現する。	
1232100248	金	9・10時限	人間・生命	医学・医療の世界ー弘前大学災害対応マネージャーその2 災害医学ー	伊藤 勝博	災害の被害想定や災害関連情報、また、災害発生時の医療体制や保険について広く学んでおくことは一般教養として重要です。本科目では、新型コロナウイルスを含む近年の主な災害と医療面を含む災害対応について知識を深めます。 ※本科目は『弘前大学災害対応マネージャー』および『防災士資格受験』の関連科目です。	履修証明プログラム必修科目

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100006	月	3・4時限	ローカル	地域の経済・産業－地域課題解決論－	野口 拓郎	○青森県をはじめ、全国的に過疎高齢化が進み、教育・医療・交通・経済など様々な分野で地域課題が表面化しています。 ○この授業はそれらの地域課題に触れ、どうすれば解決することができるのかを考えていきます。 ○青森県と大きく地域事情が異なる西日本、そして海外の現状についても学び、そことの比較を通して青森県や東北、北海道を深く捉えていきます。 ○地方公務員やNPO職員、地域おこし協力隊、JICA海外協力隊、フリーランス等で地域おこしに関する仕事に就きたい学生にもお勧めします。 ○コロナ禍における現状や対策も考えていきます。 ○地域おこしと聞くと文系のイメージで捉える学生は多いですが、保健学科や農学生命科学部など理系の学生も毎年多く受講しています。文理融合型の授業を意識しています。	
1232100007	月	3・4時限	ローカル	地域の社会・文化－地域司法－	平野 潔	○ゲストスピーカーの講話や担当教員の補足的な説明を聴いて、青森県の司法の現状を知る ○その抽出した問題について、自分なりの解決方法を考える ○それぞれが考えた解決方法について、学生同士で議論する	
1232100008	月	3・4時限	ローカル	地域の社会・文化－弘前藩のサムライ文化－	山田 史生	○平周運禪師(大鰐・善福寺住職)の指導のもと「坐禅」に挺身することをおして、弘前藩のサムライ文化の背骨を支えた精神文化のひとつである曹洞禅について学びます。あわせて禅に関するDVDを鑑賞します。	
1232100009	月	3・4時限	ローカル	地域の社会・文化－オンライン演奏会実習－	小田 直弥	○音楽文化の維持発展の機会である演奏会は、近年、オンラインをフィールドとした新たな広がりを見せている ○地域の社会と文化のより良い発展を目指す戦略として今日注目されているのもオンラインである ○この授業では、県内の文化財1つに着目し、その周縁を探究することで得られた地域の社会や文化に関する理解を着想源として、オンラインでの配信を前提とした演奏会動画の作成・公開(Youtube)を行う ○地域の文化資源のもつ歴史的コンテクストと、演奏や動画ならではの表現方法を組み合わせることで、地域におけるこれからのオンライン活用の在り方について実践のなかで検討を行う ○受講生は何かしらの演奏ができることが望ましく、西洋音楽の視点から、レッスンを行うことは可能である。一方で、企画構成・撮影・動画編集も本授業で扱うことから、それらが得意な学生においては、必ずしも演奏能力は必須ではない。	
1232100010	月	3・4時限	ローカル	地域の自然・環境－食育概論②－	伊藤 大雄	○食生活について深く考え、地域の食材を理解し、健康な食生活を実践する力を身につけることを念頭に、専門分野の異なる多くの教員が話題を提供します。○田畑の土と肥料、農業・遺伝子組み換え作物の安全性や、青森県の主要農産物の栽培方法・流通などについて総合的に学びます。 ○青森県の事例を中心に、食物栄養や生活習慣病についてもあわせて学習します。 ○「食育概論①」より農業・地域食材に重点を置いています。	
1232100011	月	3・4時限	ローカル	地域の自然・環境－白神学Ⅰ－	中村 剛之	○青森県と秋田県にまたがって広がり、世界自然遺産にも登録されている白神山地の自然について理解を深める。 ○同じ白神山地をフィールドとしつつさまざまな分野、切り口の研究活動があることを学ぶ。 ○フィールドワークの手法とその面白さを学ぶ。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100067	火	9・10時限	ローカル	地域の芸術・文学－青森の地方文壇と文学－	SOLOMON JOSHUA LEE	○青森の「地方文壇」および「地方文学」の定義や意義について考察した上で文学の精読・解釈の仕方を学習する ○青森の「地方文学」の代表的な作品を読み、その文学的・歴史的な背景を把握し、様々な観点からこの地方の文学の意味・意義を討論する * 授業内容は需要に応じて英語と日本語でバイリンガルで行うことがあります。その場合は読む宿題と書く宿題の言語を学生に自由に選ばせる。 ○ Consider the definition and importance of Aomori's so-called "local literary establishment" and "regional literature" and then study methods of close reading and literary analysis. ○ Read representative works of Aomori's "regional literature" and understand its literary and historical background and discuss the meaning and significance of local literature from a variety of angles. * According to need, class may be taught bilingually in Japanese and English and homework may be read and written in either language.	
1232100147	木	5・6時限	ローカル	地域の社会・文化－弘前藩の古武術－	下田 雄次	○弘前藩に伝わった武士の技・古武術(居合術、剣術)を題材にしなが、無形文化の保護・継承問題を考えます。 ○「腰を落とした姿勢」や「ナンバの動き」など、我が国の無形文化を支えている基本的な身体技法の特質を学びながら、現在の私たちの日常における身体の常識(立ち姿や歩き方など)を相対化してゆきます。我々が「当たり前」に思っている身体のあり方を疑う視点を学びます。 ○武術伝承者の方々を講師にお招きして、実際に弘前藩に伝わる古流の居合や剣術を体験的に学習します(弘前藩伝・林崎新夢想流居合／ト傳流剣術)。 ○スポーツや日常生活に活用できる武術的な身体づかいも学びます(体幹部の使い方や重力・慣性力の活用方法など)も学べます。 ※本講座で対象にする武術は「剣道」や「居合道」など、いわゆる現代武道とは異なりますので、了承の上、履修してください。	
1232100162	木	9・10時限	ローカル	地域の芸術・文学－日本近現代文学における「青森」表象－	帆苺 基生	○青森にゆかりのある日本近現代文学作品の読解を行う。 ○青森にゆかりのある日本近現代文学の作家について見識を深める。 ○文学作品に描かれた故郷を理解することで、地域社会と文化の関わりを理解する。	
1232100163	木	9・10時限	ローカル	地域の自然・環境－食育概論①－	石塚 哉史	最近のわが国において食生活を巡り、栄養バランスの偏り、不規則な食事、若年層の習慣病・肥満の増加等の問題が叫ばれており、この危機的状況を改善するために2005年に政府は食育基本法を施行しました。 こうした状況を踏まえ、栄養、食生活、食の安全、食料政策、食糧需給、食環境、食文化という食に纏わる事象の特徴や課題についても学び、食育を実践する上で必要な基礎的な知識を習得することを目的としています。それに加えて、本学が立地している青森県における食と農の特色を学ぶことにより、地域での食と農の在り方について説明できるような知識を身につけます。	
1232100164	木	9・10時限	ローカル	地域の自然・環境－青い森の食材機能学－	前多 隼人	青森県はりんご、カシス、ごぼうなど生産量が日本一の食品がたくさんある。 これらの食材には病気の予防や改善に役立つ優れた機能があることが明らかになってきた。 青森県は平均寿命が全国最下位であり、生活習慣病の患者割合も高い地域だが、食品の機能性を正しく理解し食生活を改善することで改善してゆける可能性がある。 本講義では県産食材の最新の健康機能性について学ぶ。 また機能性食品などの健康機能性を生かした付加価値の高い食品の開発事例について紹介し、食品素材の特徴を生かした地域産業を活性化の方法について考える。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100165	木	9・10時限	ローカル	地域の社会・文化－北日本の民俗芸能・祭り－	下田 雄次	○青森県を中心にして、民俗芸能や祭り(いわゆる無形の文化財)を題材としながら、青森の文化や歴史、現代社会の諸相に迫ります。 ○実際に対象地域の民俗芸能や祭りに携わっている人々と対話をして、その知識や技術、考え方、立場などに触れながら議論を行い、理解を深めてゆきます。 ○地域文化を担う人々や、人々の実践に触れ、関わりあいを持ちながら当事者の側に寄り添った視座の獲得をめざし、地域社会に対する理解を深めてゆきます。 ○体験的な学習によって「身体を通した学び」を行い、学習者自身が自らの立場を越えて、地域文化実践の一端に立脚するような視点を学びます。	
1232100166	木	9・10時限	ローカル	地域の社会・文化－地域ボランティア入門①－	李 永俊	○ボランティアに関する基礎的な概念について学習し、地域社会におけるボランティア活動の意義を理解する ○ボランティア活動を通して、各ボランティア団体の課題を発見する(見通す力) ○ボランティアの実践を通して、地域社会の課題を解決する力を養う(解決していく力) 本講義は、事前研修、ボランティア実践、成果報告会から構成される。事前研修では、弘前市のこどもの貧困の実態と、そのような子どもを支援する行政の役割とその限界を学習する。その上で行政ではないボランティア活動の意義を理解する。そして、地域内の各ボランティア団体について調査し、活動場所の選定を行う。月1回開催されるボランティア活動に参加し、各団体の実情などを調査する。調査結果は中間活動報告会を通して共有する。その内容を踏まえ、改善案を検討し、改善計画を立てる。改善計画を各団体の運営者に説明し、改善計画に沿って事業を継続する。そして、最終報告会に改善活動の結果、および事業を通して発見した課題、その解決策を提案する。 新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、本講義は上記の講義計画を大幅に変更し、主に講義形式で実施する。本講義では、地域が抱えている諸課題の理解を深めるとともに、行政や民間ではなく第三の担い手であるNPOや市民団体、そしてボランティアの可能性を理解することを目的とする。 本講義のMicrosoft Teams のコードは、1h3cche です。ムードルのアクセスについては、第1回のオリエンテーションで説明します。	
1232100214	金	5・6時限	ローカル	地域の社会・文化－写真で見る青森の近代－	高瀬 雅弘	○写真を資料として青森の近代の歴史の諸側面を読み解く ○「フォト・リテラシー」(写真に関する読み書き能力)を高める ○担当者がそれぞれ撮影・収集した写真をもとに、近現代の青森の歴史や社会・生活の変化について講義する	
1232100215	金	5・6時限	ローカル	地域の経済・産業－地域活性化について－	村中 文人	○地域社会および経済・産業を構成する要素について学習し、理解を深める。 ○経済・産業が地域社会に与える様々な影響について学習し、理解を深める。 ○地域産業の取り組み等(講義の進捗状況により数回)を紹介し、地域と産業の関わり合いについて学びます。	
1232100216	金	5・6時限	ローカル	地域の社会・文化－地方創生入門②－	小寺 将太	○日本全体から青森県内における地方創生に関する現状や課題、取り組みについて体系的に理解を深めます。 ○地域課題の解決手法をワークショップ形式で習得することを目指します。 ○地域創生人材の育成を目指すことが本講義の目的です。	
1232100217	金	5・6時限	ローカル	地域の経済・産業－青森の色感嗜好－	石川 善朗	○商品開発の基礎としてのデザイン色彩に関する事柄について学びます。 ○青森県の色感嗜好調査を元にして、感覚言語を用いたイメージ色彩分析や、色感嗜好及びデザインマーケティングにおける企画構成作業を学習します。 ○近隣の外部調査と演習を織り交ぜながら青森県の商品開発の捉え方を学習します。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100218	金	5・6時限	ローカル	地域の社会・文化－青森の手工芸基礎－	安川 あけみ	・各地の伝統的な「染め」と「織り」を知り、青森や東北の特徴を学びます。 ・衣服材料の種類と性質ならびに衣服デザインの基礎を学び、青森県の気候風土や人々の気質を考えます。 ・青森の伝統的な手工芸を知り、それらが生まれた背景を考えます。 ・こぎん刺し、裂き織りおよび布の染色を体験します。	
1232100227	金	7・8時限	ローカル	地域の芸術・文学－日本美術史－	出 佳奈子	○江戸時代までの日本美術史の流れを時系列的に概観します。 ○それぞれの時代の表現上の特徴を把握します。 ○個々の作品がうみだされた文化的背景や他国との関係について学びます。 ○津軽藩とかかわりのある美術品に注目し、日本美術史全体のなかに位置づけていきます。	
1232100017	月	3・4時限	自然・科学	化学の世界－カリカリペーコンはどうして美味しいにおいなの？－	橋本 勝	○台所にある食品を化学の視点で学ぶ。 ○食品にはさまざまな機能を持つ化学物質が含まれていることを知る。 ○食品の色や香りなどのサイエンスに触れる。 ○食品への人工的な添加物の意味や安全性を学ぶ。 ○好奇心こそが科学の源であることを知る。	
1232100018	月	3・4時限	自然・科学	化学の世界－実感する化学B－	高田 晃	生活に密着した諸問題を化学の視点から学びます。	
1232100019	月	3・4時限	自然・科学	化学の世界－生活の化学A－	鷺坂 将伸	○私たちの生活に関わるすべてが化学物質であることを理解する。 ○化学反応が、「さびる」と言った現象を引き起こしたり、「エンジン」を動かすと言った技術につながっていることを理解する。 ○化学の発展が私たちの生活に恩恵を与えたと同時に、公害など問題をもたらしてきたことを知る。 ○さまざまな現象を化学の目でとらえ、それに魅了された偉大な先人たちが現在の化学を発展させてきた歴史を知る。	
1232100020	月	3・4時限	自然・科学	農学の世界－イネ(稲)を学ぶ－	姜 東鎮	私達が主として食べているコメはイネからできます。しかし、正確にいうとコメとイネは違うものです。知っているつもりで実はよく知らないイネについて学びます。イネには様々なものがあります。例えば、水田で栽培するものだけでなく畑でも栽培できるもの、温度または光に敏感なもの、好ましくない環境下でも生き延びるもの等々、種類もたくさんあって、大変面白い植物(作物)です。そのイネのからだを理解することから私達が食べるコメになるまで、イネについて一つ一つ解説します。	
1232100021	月	3・4時限	自然・科学	物理学の世界－相対性理論入門－	佐藤 松夫	○アインシュタインの発見した相対性理論の基礎を学びます ○上記学問の知識や技能に基づき、身近な物理現象を学びます	
1232100022	月	3・4時限	自然・科学	物理学の世界－物理学の基礎－	金本 俊幾	これから物理学を学びたいという人を対象として、物理学の基礎を初歩から学びます。身の回りで生じている物理現象の原理が説明できるようになります。	
1232100059	火	3・4時限	自然・科学	工学の世界－自然の計測－	丹波 澄雄	自然を対象とした計測の一つに遠隔計測(リモートセンシング)があります。リモートセンシングによって広範囲を短時間に計測することができます。授業ではリモートセンシングの原理から実際の応用例まで最新の成果など具体例を提示しながら解説します。副題が「自然の計測」ですので、「計る」ということの基本的な原理を理解できることを目標として授業を進めます。	
1232100066	火	7・8時限	自然・科学	生物学の世界－微生物学の歴史－	田中 和明	病原体の種類(真菌・細菌・ウイルス・ウイロイドなど)やそれらの分類学的・系統学的位置づけについて説明しつつ、病原体および感染症が人類史に与えた影響や、発見に至った経緯、治療法の解明等について解説します。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100076	火	9・10時限	自然・科学	工学の世界－再生可能エネルギーの物理入門－	渡邊 良祐	太陽電池、風力発電等の環境に優しいエネルギー技術について、その原理と動向を基礎から考えていきます。科目の前半では多様な種類の再生可能エネルギーの概観について学びます。科目の後半では特に太陽電池に注目し、様々な太陽電池の物理的な基礎を理解していきます。	
1232100172	木	9・10時限	自然・科学	化学の世界－光と物質－	島田 透	○化学の基礎について学びます。 ○光と物質に関する科学的な見方を学びます。	
1232100173	木	9・10時限	自然・科学	化学の世界－生活の化学B－	長南 幸安	○私たちの生活に関わるすべてが化学物質であることを理解する。 ○化学反応が、「さびる」と言った現象を引き起こしたり、「エンジン」を動かすと言った技術につながっていることを理解する。 ○化学の発展が私たちの生活に恩恵を与えたと同時に、公害など問題をもたらしてきたことを知る。 ○さまざまな現象を化学の目でとらえ、それに魅了された偉大な先人たちが現在の化学を発展させてきた歴史を知る。	
1232100174	木	9・10時限	自然・科学	工学の世界－昆虫機能利用学入門－	金児 雄	○古くはカイコをはじめとした繊維工業、近年では昆虫特有の構造を利用したモスアイなど、われわれの生活では昆虫利用またはその性質を参考にした様々な技術が利用されている。 ○そこで産業応用への基盤となる昆虫特有の体の構造や発育システム、行動様式について学習し、その利用技術について紹介する。	
1232100175	木	9・10時限	自然・科学	数学の世界－実感する数学－	高田 晃	身の回りの現象と数学の関わりについて学びます。	
1232100220	金	5・6時限	自然・科学	環境と生活－環境と生活A②－	長南 幸安	○大気・水・大地からエネルギーに至るまで人間活動と環境や暮らし・生活がどのような関係にあるかを学びます。 ○環境中に放出された化学物質が人間を含む生物系に及ぼす影響や、リサイクルやゴミ問題とエネルギーなどの環境問題を考察する方法も学びます。 ○いくつかのテーマにおいては地域志向科目として青森県を例に取りあげて、環境と生活の関係性を考えます。	
1232100221	金	5・6時限	自然・科学	生物学の世界－生命の起源と進化－	姫野 俵太	昨今の科学技術の進歩により、生命が如何に緻密にできており素晴らしいものであるかの理解が進むにつれ、その起源についての謎は深まるばかりである。この講義では、原始宇宙(地球)において生命が生じた奇跡、そしてそれが現存する生物にまでに進化してきた軌跡を考察し、それを通して生化学、分子生物学、細胞生物学を学ぶ。	
1232100230	金	7・8時限	自然・科学	農学の世界－農業と環境－	藤崎 浩幸	○次の1)～3)について学識を得ます。 1)コメをめぐる生産と消費、流通、政策の現状 2)コメの品質・食味・加工品 3)コメ生産の場である水田や農村の多面的機能(交流・文化・環境) ○上記の学識に基づいて、農業生産の意義と環境とのかかわりについて理解を深めます。	
1232100243	金	9・10時限	自然・科学	環境と生活－放射線リスクコミュニケーションの理解－	北宮 千秋	放射線や原子力による恩恵を受ける一方で、事故や災害等のリスクに備える必要があります。そこで、放射線の基礎的な知識、および、「放射線を如何に考えるか？」について、リスクコミュニケーションの視点から共に考えます。 ○放射線の単位や日常生活に関わっている放射線の機能・役割について理解する ○リスクコミュニケーションの概念を理解し、その視点から放射線に関するリスク認知やメディアの反応、危機管理について考察する ○事例を基に、放射線リスクコミュニケーションの現状、重要性、多様性、および、実施に必要な技術や課題について考察する	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100244	金	9・10時限	自然・科学	工学の世界－バイオイメージングと細胞生物学－	岩井 草介	○生物学の発展に大きな貢献を果たしてきた顕微鏡や蛍光タンパク質などのバイオイメージング技術について、基礎的な原理から理解する。 ○いくつかの基本的な顕微鏡については、実習を通して実際にその操作法を学ぶ。 ○細胞生物学の分野を中心に、バイオイメージング技術によって解明されたさまざまな生命現象を学ぶ。	
1232100245	金	9・10時限	自然・科学	物理学の世界－実感する物理学－	高田 晃	身の回りの物理現象を取り上げながら、物理学全般を学びます。	
1232100001	月	1・2時限	社会・文化	芸術－囲碁入門その後－	山田 史生	○発展的な碁の打ち方について学ぶ。実践を通して囲碁のもつ芸術性を味わう。 ※まったくの初心者ではなく、ひととおり碁の打ち方を知っているひと(前期の「囲碁入門」を受講したひと)が対象。 ※講師として、古川元(青森県最強位)古川こんゆ(日本棋院プロ棋士)をお招きし、望みうる最高レベルでの指導をおこないます。人生を豊かにするすべとして囲碁をおぼえてください。	
1232100012	月	3・4時限	社会・文化	芸術－音楽と哲学B－作曲を通して考察する－	清水 稔	・音楽行為を哲学的に捉えるとどのような関係性が生じているかということを、楽器や電子音との関係性を中心に考察しながら作曲を通して学ぶ。 ・現代の音楽環境を考える上でのDTMやインターネット、動画といったメディアとの関連も学ぶことで、これからの芸術や教育の在り方について考察する。	
1232100013	月	3・4時限	社会・文化	文学－現代女性文学の世界－	鈴木 愛理	・読書会(リテラチャー・サークル)という形式を用いて、〈文学(小説)を読むこと〉自体や、その意味について考える。 ・江國香織、川上弘美、小川洋子などの短編作品を通して、現代女性文学の世界に触れるとともに、文学が書かれ読まれていく意味について考える。	
1232100014	月	3・4時限	社会・文化	芸術－日本画入門Ⅱ－	蝦名 敦子	○日本画の様々な作品を鑑賞しながら、日本画について理解を深める。 ○制作過程や基礎的な技法を応用し、小動物(剥製)のモチーフを使用して、作品を制作する。	
1232100015	月	3・4時限	社会・文化	政治経済・社会－管理会計・原価計算入門－	商 哲	管理会計は、企業の経営管理者に対し、経営管理に不可欠な経済的情報を提供するため、適切なデータを認識し、測定し、記録し、分類し、要約し、解説する理論と技術です。原価計算は予算管理とともに管理会計の中核であるとされています。この授業は、①管理会計と原価計算の社会的意義、基礎概念について説明します。②管理会計と原価計算における計算技法について説明し、管理会計と原価計算の全体像への理解を深めます。③管理会計と原価計算の実務における活用に関する基本的な知識を習得します。	
1232100061	火	5・6時限	社会・文化	政治経済・社会－政治学入門－	蒔田 純	・この授業では、政治に関する基本的な仕組みを理解した上で、政治事象について自ら考え、分析するための基礎を身につけることを目的とする。 ・政治とは何か、政治学とは何か、という政治学を学ぶ上で基礎となる問題について理解を得るため、毎回、政治に関する基本的概念を取り上げ、分かりやすく解説していく。 ・その際は、現実の政治行政の動きや実例を交え、できるだけ受講者が具体的にイメージしながら学べるような講義としたい。	
1232100075	火	9・10時限	社会・文化	政治経済・社会－イノベーション理論の基礎－	熊田 憲	企業のみならず国や地域においても不可欠となったイノベーションとはどのようなものなのかについて、イノベーションの基礎理論を学ぶことにより理解を深める。	
1232100110	水	3・4時限	社会・文化	政治経済・社会－市場社会と政府の経済入門－	金目 哲郎	○政府の経済活動を理解するための経済学や財政学の基本的知識を学びます。 ○市場社会における政府の経済活動のあり方を考えます。	
1232200021	木	3・4時限	社会・文化	法と社会B－日本国憲法⑤－【全学部2年次以上】	大竹 昭裕	○学校教員としてだけでなく社会を構成する一員として、日常生活を営む上で求められる憲法感覚・人権感覚を磨いていきたい。 ○基本的人権の問題に焦点を当て、現実生活の中で生じた具体的事例を通して問題の所在を把握し、それに関わる議論状況や裁判所の判断内容を的確に理解することができるよう授業を進めていく。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100150	木	5・6時限	社会・文化	芸術－木材・木炭入門－	廣瀬 孝	○講義では様々な木材や木炭等をスライドにて鑑賞し、知識・理解を深める。 ○木質材料等様々な素材を紹介し、それらと製造の違い等について考察する。 ○上記で得た知識・理解を生かし、各自がそれぞれテーマを決定し、構想、製図、けがき、切断等を経て、「もの」を制作する。	
1232100159	木	7・8時限	社会・文化	言語学の世界－初めての日本語教育②－	笹森 圭子	日本語学習者や日本語の支援を必要としている人は年々増加し、多様化してきています。日本の中で暮らしていても、今後、その重要性は高くなります。この授業では、日本語教育・日本語を教えるということについて、基礎となる知識を深めます。 ○日本語を教えるとはどのようなことが多角的に考えます。 ○様々な日本語学習者について理解を深めます。 ○日本語支援が必要な成人・児童生徒についての基礎知識を得ることができます。	
1232100169	木	9・10時限	社会・文化	くらし・文化－子どもの育ちと教育福祉文化論－	深作 拓郎	○子どもが健やかに育つために必要な地域社会の環境について、教育・福祉・文化の領域から横断的に学ぶ。 ○子どもの育ちを支援する社会資源や社会保障の構造とそこに込められる理念について学習し、理解を深める。 ○子どもの育ちを支援することを目指した施策や市民活動を具体的に学び、子どもの豊かな育ちのための地域社会の環境醸成について理解を深めていく。 ○「子どもの育ち」は、親だけでなく学生自身も社会の一員としてその当事者であることの意識を高める。	
1232100170	木	9・10時限	社会・文化	芸術－彫刻入門Ⅱ－	塚本 悦雄	○講義で彫刻・芸術への知識・理解を深める。 ○彫刻の様々な技法、素材を紹介し、それらと表現の関わりについて考察する。 ○上記で得た知識・理解を生かし、各自がそれぞれテーマを決定し、アイデアスケッチ、マケット制作(粘土で制作、焼成し陶彫へ)を経て、小さい石彫作品を制作する。	
1232100171	木	9・10時限	社会・文化	法と社会A－「市民生活と法」入門－	長谷河 亜希子	1 この授業は特殊な授業形態を取ります。下記の「準備学習の内容」および「成績評価」の欄を熟読してください。 2 法学を学ぶ際には、新聞から得られる知識が欠かせません。 そのため、この授業では、前半約40分は、授業日前1週間(前週の木曜日～授業前日の水曜日)の「朝日新聞」の記事に関して、皆さんと意見交換を行います。 毎回、出席者全員に、興味を持った新聞記事について、興味を持った理由や感想、意見などを述べてもらいます。 各自、ノートを用意し、そのノートに選択した記事を張り付け、自分の意見を記載しておいてください。 3 授業時間の後半(約45分間)は法学の基礎的知識を身につけるための講義を行います。 川名壮志著『密着 最高裁のしごと－野暮で真摯な事件簿』岩波新書(2016年11月発行)を全員で輪読し、質疑応答に加えて、教員が解説しますので、各自必ずこの本を持参してください。 加えて、授業ノートをきちんととってください。 4 したがって、受講生のノートには、①切り抜いた新聞記事&その記事へのコメント、②授業ノートが毎週、繰り返し記述されていくことになります。 5 受講生の上記「ノート」は、授業最終日にその場で回収します(成績評価に用いるためです)。	
1232100228	金	7・8時限	社会・文化	歴史・地理－日記で読む近代日本－	大谷 伸治	○近代史料の解読ができるようになる。 ○近代日本における日記の意味や役割について理解する。	
1232100229	金	7・8時限	社会・文化	くらし・文化－メディア・リテラシーの基礎－	森本 洋介	メディア社会において私たちを取り巻いている多様な情報に対して、客観的・多面的・分析的に読み解くための能力であるメディア・リテラシーについて、情報分析と制作活動を通じて理解を深め、基礎を習得する。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100238	金	9・10時限	社会・文化	くらし・文化ー世界を変えた作物ー	勝川 健三	現在の私たちの暮らしは植物の様々な恩恵の上に成り立っています。また15世紀末以降、新大陸から欧州にもたらされた作物は世界を大きな変貌させ、そしてそれは現代社会の礎にもなっています。本授業ではそういった作物に焦点を当て、作物がヒト・社会に及ぼした影響について学びます。	
1232100239	金	9・10時限	社会・文化	芸術ーデザイン入門ー	佐藤 光輝	○形態と色彩における美の基本を理解し、その法則を用いることで美しい作品を作り出す方法を学習します。 ○講義と作品制作を通して、デザインに重要な形の対称性と色彩の調和を理解します。 ○青森県の既存商品パッケージデザインを分析し、改良するための計画を立案します。 ○計画レジュメと課題作品の制作をおこない、作品発表と展示、講評を実施します。	
1232100240	金	9・10時限	社会・文化	思想ー倫理学の基礎Bー	横地 徳廣	われわれ人間は、とりかえのきかない、この地球で生きています。このことの倫理的意味を考えることが、この授業の目標です。こうした哲学的思考の深まりを確かめるため、毎回コメント・ペーパーの記述が求められます。 エートスは「住まうこと」を原義としています。地球のどこにせよ、或る土地に人びとが住まうとき、その土地には「習俗」というエートス、その人びとには「気質」というエートスが形成され、同時に、そこに生きる一人一人の人間は、そうした習俗のもと、他者とのかわりのなかで自身の「性格」というエートスを形成していきます。こうした「エートスの学(エピステーメー・エーティケー)」は、命ある人間が或る環境に住まうことの哲学的意味を解き明かす「生命環境倫理学」だと言えます。 本講義では、われわれが生きる社会で多様な事象は互いに連関していること、このことにかんして生命環境倫理学の観点から学ばれます。わけても質と量の関係に注目し、いくつかの空間概念の歴史的変容を受講生のみなさんは確かめますが、この確認を通じて「計算的理性」が現代社会に拡大していくプロセスを見定めることができます。	
1232100241	金	9・10時限	社会・文化	政治経済・社会ー異端の経済学ー	細矢 浩志	カール・マルクス(1818～1883年)の考えにもとづく経済学の総称である「マルクス経済学」は、「資本主義」と呼ばれる経済システムを歴史的な存在と捉え、その内的構造と歴史的生成・発展・消滅の仕組みについて批判的な解明を試みる経済学大系のひとつです。マルクスは、高校の教科書ではアダム・スミス、ケインズと並ぶ著名な経済学者の一人に数えられ、彼の主著『資本論』も古典としての名声は高いけれど、いまではマルクス(とその諸業績)が取り上げられる機会はめっきり減ってしまいました。「異端」と名付けた所以です。ところが最近、高度に発達した資本主義社会において格差や貧困が社会問題化し、資源浪費型の大量生産・大量消費モデルの限界が指摘されるなど、「資本主義」そのものを見直すとする機運が高まるなかで、自然との物質代謝を見据えた彼のダイナミックな労働・生産過程分析が、次世代の持続可能な成長モデルを模索する上で大いに注目されるような変化が現れてきています。なぜ今「注目」されるのでしょうか？彼の議論は本当に「古い」のでしょうか？こうした状況を踏まえ、授業では以下の点に留意して解説していきます。 ○「マルクス経済学」を構成する基本的な概念について学びます。 ○同経済学の切り口や問題意識が経済社会を分析・理解するうえでどのような意味を持つのかについて検討します。 ○同経済学の学問体系として意義と限界について考えます。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100242	金	9・10時限	社会・文化	文学－中国の文学－	山田 史生	○『ホウ居士の語録』をじっくりと読みます。じっくり読むとはどういうことなのか、それを体感してもらいます。 ○ホウ居士とは中国・唐の時代の天才的な禅者です。居士とは在家(出家しない在俗)の仏教者のことです。ホウ居士の奇想天外な言動を味わいます。 ○禅問答について講義します。非日常的というか、かなり現実離れた議論をあつかうこととなります。「考える」ことが苦手な人には、きわめて辛い授業になることをお断りしておきます。	
1232100023	月	3・4時限	人間・生命	メンタルヘルス－メンタルヘルスⅠ－	田中 真	○人間の心の健康を、自我発達、人格形成、生涯発達との関連から学識を深める ○様々なアプローチで自己分析を行い、自己および身近な人達との関係の持ち方を見直すきっかけとなる ○心の健康についての理解を深める	
1232100024	月	3・4時限	人間・生命	医学・医療の世界－人体のしくみと健康－	齊藤 絵里奈	ありふれた病気や重い病気が起こる人体のしくみの概要について、生理学・解剖学・法医学・消化器内科学・血液内科学などの切り口から学び、それらの医学・医療知識を、今後の自分自身や自分と関わる人達の病気予防や健康的な生活の維持・向上に活かす。	
1232100025	月	3・4時限	人間・生命	医学・医療の世界－医学研究の進歩B－	米山 徹	オムニバス形式で、各領域の研究者が専門分野(医学研究)における進歩について 情報を提供します。	
1232100026	月	3・4時限	人間・生命	人を育む営み－女性の健康－	葛西 敦子	○看護学・教育学領域における女性の解剖生理学的特徴、妊娠・分娩・産褥、母性関連法規などについての学識を得ること。 ○上記学問の知識や技能に基づいて、生涯女性として健康に過ごすことができるような人を育み営みを理解できるようになること。 ○現代社会における女性の健康課題について考えることができること。	
1232100027	月	7・8時限	人間・生命	心理学の世界－心理学入門B－	田名場 美雪	○心理学の基礎的な概念および応用的なテーマ等について学習し、理解を深める。 ○心理学の視点から、日々の体験や現象等について分析する。	
1232100077	火	9・10時限	人間・生命	情報と健康・医学－健康のためのデータ解析学－	對馬 栄輝	数学の領域と認識されている統計学は、医学の分野でも非常に多く活用されています。 また、大量の医療データから有効な情報を得るためにも、医療従事者が統計学の知識と活用法を知っておく必要があります。 これから医学の専門的技術を学ぶ者として、統計学の基礎を学び、統計学的手法の応用方法を知る必要があります。 この講義では、統計学を医学へ応用するための初歩的な考えを身につけることが目的となります。	
1232100160	木	7・8時限	人間・生命	運動と健康B【P小学校】－③－	高橋 俊哉	○健康教育についての基本的な考え方や学校健康教育の目標、機会、方法等について学びます。子どもが健康に生きる力を高めるための支援のあり方について考える。 ○健康科学に関する基礎的な知識を学習するとともに、各ライフステージにおいて実生活へ活用するための方策について概観する。 ○学校現場における運動指導(体育的行事や運動部活動指導など)について学ぶ。	
1232100161	木	7・8時限	人間・生命	運動と健康B【P中学校・特支・養教】－④－	高橋 俊哉	○健康教育についての基本的な考え方や学校健康教育の目標、機会、方法等について学びます。子どもが健康に生きる力を高めるための支援のあり方について考える。 ○健康科学に関する基礎的な知識を学習するとともに、各ライフステージにおいて実生活へ活用するための方策について概観する。 ○学校現場における運動指導(体育的行事や運動部活動指導など)について学ぶ。	
1232100176	木	9・10時限	人間・生命	人を育む営み－家族の機能と役割－	藤田 あけみ	○人間の成長・発達において重要な家族の機能と役割を学びます。 ○家族を取り巻く社会と自己の課題を探究する能力を得るための学びを深めます。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100177	木	9・10時限	人間・生命	人を育む営みー教育の場における試行錯誤と幸福Bー	清水 稔	哲学討論の授業です。毎回、テーマをもとに哲学の話を聞いたのちにグループ毎にそのテーマについて討論をします。それをもとに自分の考えをエッセイとして書き綴り、最終的には冊子にまとめます。木村敏とジャック・ラカンの理論が中心となりますが様々な現代思想を取り上げます。全体を通して「生きること」とは何かを問います。議論を通して正解を求めるのではなく、多面的な見方を養うことで未来の選択の幅を広げることを目的とします。	
1232100178	木	9・10時限	人間・生命	人を育む営みー幼児教育への誘いー	武内 裕明	○育児の判断プロセスを追体験するパフォーマンス課題に取り組むことで、基本的な幼児教育の位置づけや役割を理解する ○授業で学んだことを踏まえて、基準を定めて自律的に幼児教育を判断できるようになる	
1232100179	木	9・10時限	人間・生命	医学・医療の世界ー人体のしくみBー	浅野 義哉	担当教員が医学専門分野(細胞組織学・再生医学、タンパク質の生化学、糖鎖工学、解剖学・放射線医学)の立場から人体のしくみについて多角的に講義を行い、生命・人体に関する知識がどのように医療に関わっているのか、さらにそれらの展望と問題点について学習します。様々な分野の学生に、上記について「一歩踏み込んだ常識」を身につけてもらうと同時に、人間・生命について幅広く深く洞察する機会を提供することを目標に講義を行ないます。 担当教員:浅野義哉(代表) 神経解剖・細胞組織学講座 多田羅洋太 分子生体防御学講座 須藤晋一郎 糖鎖工学講座 白戸佑貴 生体構造医科学講座	
1232100180	木	9・10時限	人間・生命	運動と健康Aー健康運動実践②ー	上野 秀人	・学習活動・社会活動の基盤となる健康・体力を向上させるための身体運動あるいは心身トレーニングの原理と実施方法を学習することを目指します。 ・バドミントンの動きづくりやスポーツ傷害・外傷の予防のためのフットワークやストレッチングも実施する。 ・毎時間、バドミントンの実技を行いながら学ぶ。	
1232100231	金	7・8時限	人間・生命	医学・医療の世界ー最新医学の現状Bー	漆館 聡志	各分野の専門家が医療と医学の現状・限界・問題点について情報を提供します。	
1232100232	金	7・8時限	人間・生命	医学・医療の世界ー人体のしくみAー	三村 純正	4人の担当教員により、人体のしくみについてそれぞれの専門分野の観点から解説します。	
1232100233	金	7・8時限	人間・生命	人を育む営みー育児と子どもの発達Bー	増田 貴人	本授業では、特に乳幼児期に焦点をあてて、子どもを健やかに育てていくための支援(地域子育て支援)について、論じていきます。 子育ては、例えば乳幼児の成長・発達過程の生理学的変化や保健学的に男女の身体機能や出産・分娩について、みるアプローチもありますが、本授業では、なかでも保育学・発達支援的視点から、社会的発達や環境との関係に焦点をあてて、概説していきたいと考えています。	
1232100234	金	7・8時限	人間・生命	人を育む営みー教育と社会ー	高瀬 雅弘	○「教育問題」といわれるものの因果関係の説明が、本当に当を得たものなのかについて検証する ○学校を中心とした教育と社会との関わりを、前期近代から後期近代へと至る歴史的な過程のなかに位置づけ、教育の現在を捉える「視座」について考える ○学校と社会に関わるひとつのテーマ(言説)を取り上げ、様々なデータや資料を活用しながらその意味や妥当性を検討する	
1232100235	金	7・8時限	人間・生命	人を育む営みー美術教育学入門Bー	佐藤 絵里子	○文献や引用を通して欧米の美術教育に関する重要概念を学び、それらの要点を1990年代の日本における「金子・柴田論争」との関連性のもとで理解する ○1990年代後半の日本で起きた「金子・柴田論争」の論点について複数の文献を参照しながら理解し、グループ・個人の立場を論拠や理由とともに主張し反駁する	
1232100236	金	7・8時限	人間・生命	心理学の世界ー身近な対人関係の維持と崩壊②ー	古村 健太郎	心理学は、人々の心が社会生活の様々な場面でどのように動くのかを実証的研究によって明らかにしてきました。本授業では、日常生活における様々な場面、特に対人関係を取り上げ、我々の心がどのように動くのかについて学んでいきます。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100246	金	9・10時限	人間・生命	人間の尊厳－人間の尊厳B－	北島 麻衣子	○「いのち」にまつわる人間の行為、倫理的問題や課題の考察に必要な基礎的知識を修得する ○現代社会の「いのち」にまつわる具体的な事例について議論をすることで、人間の尊厳について理解を深める ○上記の過程において、全体やグループの中で自らの考えを自分の言葉で表現する	
1232100247	金	9・10時限	人間・生命	医学・医療の世界－脳のしくみ－	上野 伸哉	神経系の機能と形態の導入から、神経系の情報伝達機構の基礎を理解する。 これらの知識のうえに薬の効果、疾患、高次脳機能のメカニズムの理解を目指す。	
1232100002	月	1・2時限	多言語	フランス語ⅡA①	JANSON MICHEL	○フランス語Ⅰで学んだことを基盤にし、教科書に沿って、未習の初級文法を学んでいきます。 ○また、演習問題や配布資料を通じて、さらにステップアップしたフランス語能力を総合的に学びます。	
1232100003	月	1・2時限	多言語	中国語ⅡA①	楊 天曦	○レベルⅠを修得した学生を対象に、初級から中級へ進む力をつけていく内容です。 ○レベルⅡはAとBに分かれており、ⅡAは文法や読解力を中心とする総合力をのばす授業(週1回)です。	
1232100004	月	1・2時限	多言語	特設言語(ロシア語入門)	REUTOVA OLGA	ロシア語の基本的な文法と読む力を養っていくことです。	
1232100113	水	5・6時限	多言語	ドイツ語ⅡB①	田中 美由紀	○レベルⅠを修得した学生を対象に、初級から中級へ進む力をつけていく内容です。 ○レベルⅡはAとBに分かれており、ⅡBは日常使われる基本的な会話表現に習熟する授業(週1回)です。	
1232100114	水	5・6時限	多言語	フランス語ⅡA②	泉谷 安規	○フランス語Ⅰで学んだことを基盤にし、教科書に沿って、未習の初級文法を学んでいきます。 ○また、演習問題や配布資料を通じて、さらにステップアップしたフランス語能力を総合的に学びます。	
1232100115	水	5・6時限	多言語	中国語ⅡA②	城本 るみ	○レベルⅠを修得した学生を対象に、初級から中級へ進む力をつけていく内容です。 ○レベルⅡはAとBに分かれており、ⅡAは文法や読解力を中心とする総合力をのばす授業(週1回)です。	
1232100116	水	5・6時限	多言語	中国語ⅡA③	楊 天曦		
1232100117	水	5・6時限	多言語	特設言語(スペイン語入門)	富田 晃	スペイン語の授業です。	
1232100118	水	5・6時限	多言語	特設言語(古典ギリシア語入門)	今井 正浩	未定	
1232100151	木	5・6時限	多言語	ドイツ語ⅡA①	永本 哲也	○レベルⅠを修得した学生を対象に、初級から中級へ進む力をつけていく内容です。 ○レベルⅡはAとBに分かれており、ⅡAは文法や読解力を中心とする総合力をのばす授業(週1回)です。	
1232100152	木	5・6時限	多言語	フランス語ⅡB①	JANSON MICHEL	○フランス語Ⅰを基盤にして、フランス語によるコミュニケーションの基礎力を養成する授業です。 ○ⅡBのいずれのクラスにも共通した授業内容の主旨は、《実践フランス語》に慣れ親しんでいくことにあります。	
1232100153	木	5・6時限	多言語	中国語ⅡB①	楊 天曦	○レベルⅠを修得した学生を対象に、初級から中級へ進む力をつけていく内容です。 ○レベルⅡはAとBに分かれており、ⅡBは会話力養成を中心とする授業(週1回)です。	
1232100154	木	5・6時限	多言語	特設言語(韓国語入門)	朴 芝仙	○ハングルの構造、読み方、発音、文章の構成など、韓国語学習の基礎を学びます。 ○韓国語の構造を理解し、基本的な日常会話ができるように学習しながら韓国の社会、歴史、経済、文化にも関心を持って視野を他国まで広げ、異文化コミュニケーション能力を養うことが目的であります。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232100155	木	5・6時限	多言語	特設言語(アラビア語入門)	亀谷 学	西アジア・北アフリカを中心に20以上の国と地域で話され、また国連の公用語の一つでもあるアラビア語について、その入門として文字と発音から基礎的な文を理解し、コミュニケーションできる知識を学習する。	
1232100222	金	5・6時限	多言語	ドイツ語ⅡB②	相馬 伸子	○レベルⅠを修得した学生を対象に、初級から中級へ進む力をつけていく内容です。 ○レベルⅡはAとBに分かれており、ⅡBは日常使われる基本的な会話表現に習熟する授業(週1回)です。	
1232100223	金	5・6時限	多言語	フランス語ⅡB②	熊野 真規子	○フランス語Ⅰを基盤にして、フランス語によるコミュニケーションの基礎力を養成する授業です。 ○ⅡBのいずれのクラスにも共通した授業内容の主旨は、『実践フランス語』に慣れ親しんでいくことにあります。	
1232100224	金	5・6時限	多言語	中国語ⅡB②	新任教員	○レベルⅠを修得した学生を対象に、初級から中級へ進む力をつけていく内容です。 ○レベルⅡはAとBに分かれており、ⅡBは会話力養成を中心とする授業(週1回)です。	
1232100225	金	5・6時限	多言語	中国語ⅡB③	楊 天曦		
1232110001	集中		グローバル	国際地域・社会・文化－国際交流－	福田 健一	○国際地域の基本的な理論や国際地域の様々な交渉(地域間、国家間、国際間、人間関係論)の理解を深めます。国際地域の交渉の理論や実践を考察します。①理論を教えます。②それを映像で理解を深めます。③理論、映像に解説を加えます。この①②③の順番で授業を進めます。	
1232110002	集中		グローバル	世界の芸術・文学－舞台芸術概論－	朝山 奈津子	○東西の舞台芸術(能、文楽、歌舞伎、バレエ、オペラ、演劇など)について、その歴史を踏まえつつ、ドラマ・音楽・美術・演出などの総合的な観点を身につける。 ○各舞台芸術ジャンルで古典ないしスタンダードなレパートリーと称される演目について、現代における上演の意義を考察する。	
1232110003	集中		グローバル	国際地域・社会・文化－国際放射線科学演習－	田副 博文	青森県原子力防災訓練にオブザーバーとして参加し、原子力災害に関する防災計画と環境モニタリングの方針を理解する。特に、緊急時の放射線モニタリングをインターンシップ研修等で学ぶことはできないため、防災訓練への参加は貴重な経験となる。その経験をレポート形式で発表する。本訓練は青森県地域防災計画に基づいて実施され、原子力事業者と防災業務計画に関する協議や要員、飲食物物の摂取制限及び出荷制限への対応など原子力災害に対する基本方針に基づく体系的な対策を学ぶことが可能である。	
1232110004	集中		社会・文化	思想－美学入門－	森 功次	○現代英語圏の美学(いわゆる分析美学)の基礎的な議論、概念について学習し、理解を深める。 ○美学の視点を用いて、身近な文化状況のありかたや現代の社会問題について考察する。	

時間割コード	曜日	時限	科目区分	開講科目名	主担当教員	授業の概要	備考
1232110005	集中		自然・科学	化学の世界－環境放射生態学演習－	赤田 尚史	原子力災害対策指針では、緊急事態においては、周辺環境の放射性物質による空間放射線量率、大気中及び環境試料中の放射性物質の濃度を把握し、関係機関で共有し公表することが重要であり、住民等の防護措置を適切に実施するための判断根拠となる。防災計画等に照らし合わせ、環境放射能モニタリングの重要性を教育する。ゲルマニウム半導体検出器を用いて簡易に測定可能な^{134}Cs、^{137}Cs、^{131}Iなどのγ線放出核種のモニタリングのみならず、化学分離を伴う専門的な技術が必要な難分析放射性核種の分析法を習得し、原子力災害時の環境放射線モニタリングへの深い見識を持つ人材を養成する。平常時・緊急時モニタリングにおける環境試料の採取や化学組成分析等の付随項目についても知見を習得する。 具体的には、放射性物質の環境中での輸送媒体である「水」を対象に、緊急時を対象とした人工放射性核種(^{131}I、^{132}I、^{134}Cs、^{137}Cs、^{90}Sr、^3H)に加え天然放射性核種(^{232}Th、^{238}U)や重金属元素を対象に、放射能測定法および質量分析法を用いた手法と測定のために必要不可欠な分離・濃縮を含む前処理手法について学ぶ。本演習は、講義形式だけではなく、フィールド調査や実験室での作業を通して、分析試料採取からの一連の操作について体験する。また、福島第一原子力発電所において放射性核種分析を実施する東京パワーテクノロジー株式会社の協力のもと、発電所を見学し、事故後の放射線モニタリングの現状や最新の分析体制についても知見を習得する。	